

# 難病ガイドブック

指定難病の治療を受けられる方へ

ー利用できるサービスのご案内ー



大分市保健所 保健予防課

TEL (097)535-7710

この「難病ガイドブック」は、難病に関連する制度やサービスなどの情報を紹介しています。

難病と診断された方やご家族の皆さまが、よりよい療養生活を送ることができますよう、より多くの方に難病についてご理解いただき、ご活用いただければと思います。

## 《 利用上の注意 》

この「難病ガイドブック」は、令和5年度の内容で編集しています。

法律の改正などで、記載されている内容に変更が生じる場合があります。

**詳しくは、それぞれの担当課までお問い合わせ下さい。**

# 目次

ページ

* 難病とは	3
◆ 指定難病一覧(338疾患)	4~7
<b>I 医療費の公費負担制度について</b>	8
1 新規申請の方法	8
●新規申請に必要なもの	9
●自己負担額について	10
●【特定医療費(指定難病)自己負担上限額管理表】	10
●指定医療機関	10
●受給者証の使用方法	11
2 更新の手続き	11
3 変更申請	12
4 再交付申請(紛失・破損等の場合)	13
5 返還届(県外転出・治癒・診療中止・死亡等の場合)	13
6 転入申請(県外から転入した場合)	13
7 治療費請求(償還払い)	13
8 その他 注意事項	14
◆ 難病の方が利用できるサービスの種類と内容	15
<b>II 障害福祉サービス</b>	16
1 障害者総合支援法によるサービス	16
●障害福祉サービスの内容	17
●日常生活用具	19
●居宅生活動作補助用具の給付(住宅改修費)	23
2 身体に障がいのある方へのサービス	24
(1) 身体障害者手帳の申請	24
(2) 手当と年金	24
(3) 医療費の助成(障害者医療証の申請)	26
(4) 補装具の購入および修理	27
(5) 住宅設備改造費の補助	27
(6) その他のサービス	28
3 指定ごみ袋の交付について	30

医療費の公費負担  
制度について

障害福祉サービス

介護保険サービス

難病の方のサービス

災害時の備え

連絡先一覧

●	申請の方法	32
●	サービスの種類と内容	33
◆	介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）	33
◆	介護予防サービス・居宅サービス・施設サービス	34
●	介護保険制度以外で入所できる施設	36
●	療養のための相談	37
●	就労についての相談	38
●	在宅人工呼吸器使用患者支援事業	38
●	その他、指定難病受給者証をお持ちの方が利用できるサービスについて	39
◆	大分あったか・はーと駐車場利用証制度	
◆	大分県ヘルプマーク・ヘルプカード	
●	わが家の防災マニュアル	40
●	避難行動要支援者事業	40
●	災害用伝言板 & 災害用伝言ダイヤル	41
●	日頃からの備え	43
●	地域包括支援センター	44
●	大分県で活動している難病の患者・家族会一覧	45
●	関係機関	46

## 難病とは

### 難病とは

難病の患者に対する医療等に関する法律（以下「難病法」）では、難病について、「発病の機構が明らかでなく、かつ、治療方法が確立していない希少な疾病であって、当該疾病にかかることにより長期にわたり療養を必要とすることとなるもの」と定めています。

また、これらの要件を満たす難病のうち、医療費助成の対象となるものが、指定難病です。

### 指定難病とは

難病のうち、下記要件全てを満たしており、患者の置かれている状況からみて良質かつ適切な医療の確保を図る必要性が高いものとして、厚生科学審議会の意見を聴いて厚生労働大臣が指定したものです。

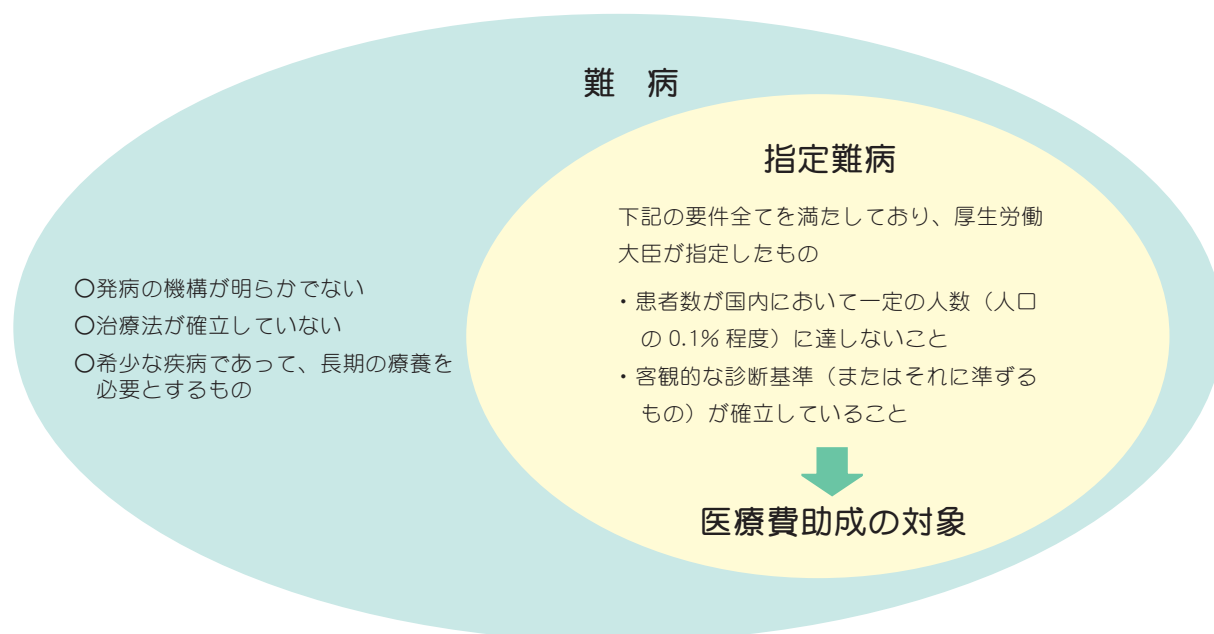
指定難病に必要な要件

- ①患者数が国内において一定数（人口の0.1%程度）に達しないこと
- ②客観的な診断基準（またはそれに準ずるもの）が確立していること

### 難病対策とは

難病対策については、昭和47年から「難病対策要綱」に基づき医療費助成等が行われてきましたが、難病患者に対して、より良質で適切な医療の確保と療養生活の質の維持向上を図っていくことを目的として、平成27年1月から難病法が施行されました。

## 難病と指定難病のイメージ



\* 難病医療費助成制度の対象疾患（指定難病）は、令和3年11月からは338疾患となっています。

◆ 指定難病（338 疾患）

告示番号	指定難病名	疾患群	認定者数	告示番号	指定難病名	疾患群	認定者数
1	球脊髄性筋萎縮症	神	7	46	悪性関節リウマチ	免	92
2	筋萎縮性側索硬化症	神	54	47	バージャー病	免	4
3	脊髄性筋萎縮症	神	5	48	原発性抗リン脂質抗体症候群	免	1
4	原発性側索硬化症	神	1	49	全身性エリテマトーデス	免	309
5	進行性核上性麻痺	神	48	50	皮膚筋炎 / 多発性筋炎	免	114
6	パーキンソン病	神	559	51	全身性強皮症	皮	100
7	大脳皮質基底核変性症	神	21	52	混合性結合組織病	免	60
8	ハンチントン病	神	6	53	シェーグレン症候群	免	68
9	神経有棘赤血球症	神	0	54	成人スチル病	免	22
10	シャルコー・マリー・トゥース病	神	4	55	再発性多発軟骨炎	免	5
11	重症筋無力症	神	126	56	ベーチェット病	免	77
12	先天性筋無力症候群	神	0	57	特発性拡張型心筋症	循	107
13	多発性硬化症 / 視神経脊髄炎	神	84	58	肥大型心筋症	循	21
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 / 多巣性運動ニューロパチー	神	23	59	拘束型心筋症	循	0
15	封入体筋炎	神	2	60	再生不良性貧血	血	30
16	クドウ・深瀬症候群	神	0	61	自己免疫性溶血性貧血	血	4
17	多系統萎縮症	神	56	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	血	7
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	神	120	63	特発性血小板減少性紫斑病	血	72
19	ライソゾーム病	代	2	64	血栓性血小板減少性紫斑病	血	1
20	副腎白質ジストロフィー	代	0	65	原発性免疫不全症候群	血	4
21	ミトコンドリア病	代	11	66	IgA 腎症	腎	79
22	もやもや病	神	52	67	多発性嚢胞腎	腎	44
23	プリオン病	神	4	68	黄色靱帯骨化症	骨	32
24	亜急性硬化性全脳炎	神	1	69	後縦靱帯骨化症	骨	203
25	進行性多巣性白質脳症	神	1	70	広範脊柱管狭窄症	骨	77
26	HTLV-1 関連脊髄症	神	21	71	特発性大腿骨頭壊死症	骨	83
27	特発性基底核石灰化症	神	2	72	下垂体性 ADH 分泌異常症	内	10
28	全身性アミロイドーシス	代	39	73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	内	2
29	ウルリッヒ病	神	0	74	下垂体 PRL 分泌亢進症	内	10
30	遠位型ミオパチー	神	2	75	クッシング病	内	4
31	ベスレムミオパチー	神	0	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	内	0
32	自己貪食空胞性ミオパチー	神	0	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	内	13
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	神	0	78	下垂体前葉機能低下症	内	65
34	神経線維腫症	皮	19	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	代	0
35	天疱瘡	皮	18	80	甲状腺ホルモン不応症	内	0
36	表皮水疱症	皮	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	内	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	皮	7	82	先天性副腎低形成症	内	1
38	スティーブンス・ジョンソン症候群	皮	0	83	アジソン病	内	1
39	中毒性表皮壊死症	皮	1	84	サルコイドーシス	呼	94
40	高安動脈炎	免	16	85	特発性間質性肺炎	呼	149
41	巨細胞性動脈炎	免	7	86	肺動脈性肺高血圧症	呼	13
42	結節性多発動脈炎	免	5	87	肺静脈閉塞症 / 肺毛細血管腫症	呼	0
43	顕微鏡的多発血管炎	免	50	88	慢性血栓性肺高血圧症	呼	17
44	多発血管炎性肉芽腫症	免	18	89	リンパ管筋腫症	呼	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	免	18	90	網膜色素変性症	視	86

告示 番号	指定難病名	疾 患 群	認 定 者 数	告示 番号	指定難病名	疾 患 群	認 定 者 数
91	バッド・キアリ症候群	消	0	136	片側巨脳症	神	1
92	特発性門脈圧亢進症	消	1	137	限局性皮質異形成	神	0
93	原発性胆汁性胆管炎	消	77	138	神経細胞移動異常症	神	0
94	原発性硬化性胆管炎	消	2	139	先天性大脳白質形成不全症	神	3
95	自己免疫性肝炎	消	45	140	ドラベ症候群	神	0
96	クローン病	消	313	141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	神	0
97	潰瘍性大腸炎	消	760	142	ミオクロニー欠神てんかん	神	0
98	好酸球性消化管疾患	消	7	143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	神	0
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	消	1	144	レノックス・ガストー症候群	神	2
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	消	0	145	ウエスト症候群	神	0
101	腸管神経節細胞僅少症	消	1	146	大田原症候群	神	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	染	0	147	早期ミオクロニー脳症	神	0
103	CFC 症候群	染	0	148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	神	0
104	コステロ症候群	染	0	149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	神	0
105	チャーシ症候群	染	0	150	環状 20 番染色体症候群	神	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	免	0	151	ラスマッセン脳炎	神	0
107	若年性特発性関節炎	免	0	152	PCDH19 関連症候群	神	0
108	TNF 受容体関連周期性症候群	免	1	153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	神	1
109	非典型溶血性尿毒症症候群	腎	0	154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	神	0
110	ブラウ症候群	免	0	155	ランドウ・クレフナー症候群	神	0
111	先天性ミオパチー	神	1	156	レット症候群	神	2
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	神	0	157	スタージ・ウェーバー症候群	神	1
113	筋ジストロフィー	神	16	158	結節性硬化症	神	9
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	神	0	159	色素性乾皮症	神	1
115	遺伝性周期性四肢麻痺	神	0	160	先天性魚鱗癬	皮	0
116	アトピー性脊髄炎	神	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	皮	0
117	脊髄空洞症	神	1	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	皮	27
118	脊髄髄膜瘤	神	0	163	特発性後天性全身性無汗症	皮	2
119	アイザックス症候群	神	2	164	眼皮膚白皮症	視	0
120	遺伝性ジストニア	神	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	染	0
121	神経フェリチン症	神	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	皮	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	神	1	167	マルファン症候群	皮	5
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	神	0	168	エーラス・ダンロス症候群	皮	2
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	神	0	169	メンケス病	代	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	神	0	170	オクシタル・ホーン症候群	皮	0
126	ペリー症候群	神	0	171	ウィルソン病	代	3
127	前頭側頭葉変性症	神	16	172	低ホスファターゼ症	骨	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	神	0	173	VATER 症候群	染	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	神	0	174	那須・ハコラ病	染	0
130	先天性無痛無汗症	神	0	175	ウィーバー症候群	染	0
131	アレキサンダー病	神	0	176	コフィン・ローリー症候群	染	0
132	先天性核上性球麻痺	神	0	177	ジュベール症候群関連疾患	神	0
133	メビウス症候群	神	0	178	モフット・ウィルソン症候群	染	0
134	中隔視神経形成異常証 / ドモルシア症候群	視	0	179	ウィリアムズ症候群	染	0
135	アイカルディ症候群	神	0	180	ATR-X 症候群	染	0

告示 番号	指定難病名	疾患 群	認定 者数	告示 番号	指定難病名	疾患 群	認定 者数
181	クルーゾン症候群	染	0	227	オスラー病	染	4
182	アペール症候群	染	0	228	閉塞性細気管支炎	呼	0
183	ファイファー症候群	染	0	229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	呼	3
184	アントレー・ピクスラー症候群	染	0	230	肺胞低換気症候群	呼	1
185	コフィン・シリス症候群	染	0	231	α1-アンチトリプシン欠乏症	呼	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	染	0	232	カーニー複合	染	0
187	歌舞伎症候群	染	0	233	ウォルフラム症候群	内	0
188	多脾症候群	染	0	234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	代	0
189	無脾症候群	染	0	235	副甲状腺機能低下症	内	0
190	鰓耳腎症候群	聴	1	236	偽性副甲状腺機能低下症	内	0
191	ウェルナー症候群	染	0	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	内	0
192	コケイン症候群	染	0	238	ビタミンD抵抗性くる病 / 骨軟化症	骨	2
193	プラダー・ウィリ症候群	染	1	239	ビタミンD依存性くる病 / 骨軟化症	内	0
194	ソトス症候群	染	0	240	フェニルケトン尿症	代	0
195	ヌーナン症候群	染	0	241	高チロシン血症 1 型	代	0
196	ヤング・シンプソン症候群	染	0	242	高チロシン血症 2 型	代	0
197	1p36 欠失症候群	染	0	243	高チロシン血症 3 型	代	0
198	4p 欠失症候群	染	0	244	メープルシロップ尿症	代	0
199	5p 欠失症候群	染	1	245	プロピオン酸血症	代	0
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	染	0	246	メチルマロン酸血症	代	1
201	アンジェルマン症候群	神	0	247	イソ甘草酸血症	代	0
202	スミス・マギニス症候群	染	0	248	グルコーストランスporter 1 欠損症	代	0
203	22q11.2 欠失症候群	染	0	249	グルタル酸血症 1 型	代	0
204	エマヌエル症候群	染	0	250	グルタル酸血症 2 型	代	0
205	脆弱 X 症候群関連疾患	染	0	251	尿素サイクル異常症	代	1
206	脆弱 X 症候群	染	0	252	リジン尿性蛋白不耐症	代	0
207	総動脈幹遺残症	循	0	253	先天性葉酸吸収不全	代	0
208	修正大血管転位症	循	0	254	ポルフィリン症	代	0
209	完全大血管転位症	循	1	255	複合カルボキシラーゼ欠損症	代	0
210	単心室症	循	1	256	筋型糖原病	代	0
211	左心低形成症候群	循	1	257	肝型糖原病	代	1
212	三尖弁閉鎖症	循	1	258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	代	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	循	0				
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	循	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	代	0
215	ファロー四徴症	循	5				
216	両大血管右室起始症	循	2	260	シトステロール血症	代	0
217	エプスタイン病	循	0	261	タンジール病	代	0
218	アルポート症候群	腎	1	262	原発性高カイロミクロン血症	代	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	腎	0	263	脳腱黄色腫症	代	0
220	急速進行性糸球体腎炎	腎	4	264	無βリポタンパク血症	代	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	腎	0	265	脂肪萎縮症	代	0
222	一次性ネフローゼ症候群	腎	46	266	家族性地中海熱	免	5
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	腎	1	267	高IgD症候群	免	0
224	紫斑病性腎炎	腎	7	268	中條・西村症候群	免	0
225	先天性腎性尿崩症	腎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	免	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	腎	7				



告示番号	指定難病名	疾患群	認定者数	告示番号	指定難病名	疾患群	認定者数
270	慢性再発性多発性骨髄炎	骨	1	305	遅発性内リンパ水腫	耳	0
271	強直性脊椎炎	骨	30	306	好酸球性副鼻腔炎	免	106
272	進行性骨化性線維異形成症	骨	0	307	カナバン病	神	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	骨	0	308	進行性白質脳症	神	2
274	骨形成不全症	骨	0	309	進行性ミオクローヌステんかん	神	1
275	タナトフォリック骨異形成症	骨	0	310	先天異常症候群	染	0
276	軟骨無形成症	骨	0	311	先天性三尖弁狭窄症	循	0
277	リンパ管腫症 / ゴーハム病	呼	1	312	先天性僧帽弁狭窄症	循	0
278	巨大リンパ管奇形 (頸部顔面病変)	呼	0	313	先天性肺静脈狭窄症	循	0
279	巨大静脈奇形 (頸部口腔咽頭びまん性病変)	循	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	循	0
280	巨大動静脈奇形 (頸部顔面又は四肢病変)	循	0	315	ネイルパテラ症候群 (爪膝蓋骨症候群) / LMX1B 関連腎症	腎	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	循	3	316	カルチニン回路異常症	代	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	血	0	317	三頭酵素欠損症	代	0
283	後天性赤芽球癆	血	3	318	シトリン欠損症	代	0
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	血	0	319	セピアプテリン還元酵素 (SR) 欠損症	代	0
285	ファンコニ貧血	血	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール (GPI) 欠損症	神	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	血	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	代	0
287	エプスタイン症候群	染	0	322	β-ケトチオラーゼ欠損症	代	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	免	1	323	芳香族 L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	代	0
289	クロンカイト・カナダ症候群	消	0	324	メチルグルタコン酸尿症	代	0
290	非特異性多発症小腸潰瘍症	消	0	325	遺伝性自己炎症疾患	免	0
291	ヒルシウスプルング病 (全結腸型又は小腸型)	消	0	326	大理石骨病	代	0
292	総排泄腔外反症	消	0	327	特発性血栓症 (遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	血	0
293	総排泄腔遺残	消	0	328	前眼部形成異常	視	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	呼	0	329	無虹彩症	視	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	消	0	330	先天性気管狭窄症 / 先天性声門下狭窄症	呼	0
296	胆道閉鎖症	消	2	331	特発性多中心性キャッスルマン病	血	7
297	アラジール症候群	染	1	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	視	0
298	遺伝性睥炎	消	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	染	0
299	嚢胞性線維症	消	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	神	0
300	IgG4 関連疾患	免	20	335	ネフロン癆	腎	0
301	黄斑ジストロフィー	視	1	336	家族性低βリポタンパク血症 1 (ホモ接合体)	代	0
302	レーベル遺伝性視神経症	視	2	337	ホモシスチン尿症	代	0
303	アッシャー症候群	耳	0	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	消	0
304	若年発症型両側性感音難聴	耳	0	令和5年2月末 指定難病受給者数 合計 5081			

\*「認定者数」は令和5年2月末現在の大大市内の認定者数です。(単位:人)

【疾患群について】

神:神経・筋系 代:代謝系 皮:皮膚・結合組織系 免:免疫系 循:循環器系 血:血液系 腎:腎・泌尿器系 骨:骨・関節系  
 内:内分泌系 呼:呼吸器系 視:視覚系 聴:聴覚・平衡機能 耳:耳鼻科 染:染色体または遺伝子に変化を伴う症候群

特定疾患治療研究事業

平成27年1月1日施行の「難病の患者に対する医療等に関する法律」(難病法)により、従来の特定疾患56疾患から一部の疾患を残し、特定医療費制度へ移行しました。

難病法施行前に特定疾患治療研究事業で対象とされてきた特定疾患のうち、右記の5つの疾患については、治療が極めて困難であり、その医療費も高額であるため、その負担の軽減を図ることを目的に助成をおこなっています。

指定難病の要件を満たさない疾患 【特定疾患治療研究事業の対象疾患】		
疾患番号	疾患名	認定者数
5	スモン	4
18	難治性肝炎のうち劇症肝炎*	3
32	重症急性睥炎*	1
38	プリオン病 (ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る)	0
54	重症多形滲出性紅斑 (急性期)*	0

\*平成27年1月以降、新規で申請することができません。(更新のみ)

# I 医療費の公費負担制度について

## 1 新規申請の方法

対象となる疾患は 338 疾患あります。(P.4~7 参照)

対象となっている疾患と診断された場合は、医療費助成の申請を行うことができます。  
申請方法等については、以下をご参照ください。

### ● 申請・問い合わせ先

大分市保健所 保健予防課 管理担当班 TEL 535-7710

### ● 申請者

申請が出来るのは、指定難病の対象疾患と診断された本人、その家族、委任を受けた代理人等です。(申請書の裏面に委任状あり)

### ● 申請手続きの流れ

医療機関にて、指定難病と診断されたら・・・

- ① 【臨床調査個人票】の作成を難病指定医に依頼します。
- ↓
- ② 必要な書類 (P.9 参照) を保健所に提出します。
- ↓
- ③ 指定難病審査会 (大分県) にて審査されます。
- ↓
- ④ 認定された場合は、【特定医療費 (指定難病) 受給者証】が大分県から発行されます。

指定医療機関でこの【受給者証】を提示することで、医療費助成が受けられます。

- \* 指定難病の認定には「診断基準」と「重症度基準」の両方を満たす必要があります。
- \* 結果については、

* 結果については、	{	認定された場合は、電話で	} お知らせします。
		保留・却下の場合は、郵送で	
- \* 認定された場合、有効期間の始期は、原則として、重症度分類を満たしていることを診断した日となります。(難病法の一部改正により令和 5 年 10 月 1 日から適用)  
ただし、申請日からの遡りの期間は原則 1 か月です。(やむを得ない理由があるときに限り最長 3 か月) ※令和 5 年 10 月 1 日より前への遡りは不可となります。
- \* その後は年に 1 回、更新の手続きが必要となります。(P.11 参照)

## ● 新規申請に必要なもの

①	特定医療費(指定難病)支給認定申請書(新規)	所定の様式は保健所の窓口にあります。 大分県健康づくり支援課のホームページからもダウンロード可能です。
②	臨床調査個人票	様式は病院にあります。 作成は【難病指定医】に依頼してください。 【難病指定医】については、大分県のホームページ、または直接病院へお問い合わせください。
③	保険証	※1 で必要な方の分を確認
④	マイナンバー	マイナンバーカード・マイナンバー通知カード・個人番号付きの住民票のいずれか ※1 で必要な方の分を確認
⑤	本人確認できるもの	窓口へ来られる方のマイナンバーカード、運転免許証、身体障害者手帳、パスポート等 官公署発行の顔写真付きのもの * 上記が無い場合は、健康保険証、公共料金の領収書、年金手帳等の書類を2つ以上お持ちください。
⑥	保険者からの情報提供に係る同意書	所定の様式は保健所の窓口にあります。 大分県健康づくり支援課のホームページからもダウンロード可能です。

医療費の公費負担  
制度について

## ● 以下は該当者のみ提出

⑦	同じ医療保険加入者で、他に医療受給者証(指定難病・小児慢性特定疾病)を持っている方がいる場合 →その方の受給者証、または申請書	自己負担額の減額(按分)
⑧	市民税非課税世帯で、障害年金・遺族年金等を受給している場合 →本人の前年の年金等が確認できる書類…「直近の払込み通知書」や「通帳」等	
⑨	【軽症者特例】※2を申請する場合 →医療費申告書および申告内容を証明する領収書等 医療費申告書(所定の様式)は保健所の窓口にあります。大分県健康づくり支援課のホームページからもダウンロード可能です。	認定となる場合がある
⑩	指定難病に起因して訪問看護等の介護保険サービスを受ける予定の方 →介護保険被保険者証	
⑪	生活保護受給者 →生活保護受給者であることを証明するもの(生活保護受給証明書等) *生活保護受給者は③⑥は不要(ただし社会保険加入者については必要)	

### ※1 保険証・マイナンバーについて

患者が加入している医療保険の種類	保険証・マイナンバーが必要な方
被用者保険 (健康保険・共済組合など)	患者 及び 被保険者の分
国民健康保険 / 後期高齢者医療広域連合	住民票上の世帯で 同じ医療保険に加入している全員分
国民健康保険組合 (医師・歯科医師・土木・建設など)	

### ※2 軽症者特例について

特定医療費の支給認定要件である重症度分類等を満たさないものの、月ごとの医療費総額が33,330円を超える月が申請月以前の12月以内に3回以上ある方については、支給認定を行います。

\*ただし、医療費総額33,330円に考慮する医療費については指定難病に係るもののみとし、入院時の食事療養費・生活療養費は除きます。

## ● 自己負担額について

医療費助成における自己負担上限額（月額）					
（単位：円）					
階層区分	階層区分の基準 （ ）内の数字は、夫婦2人世帯の場合における年収の目安		患者負担割合：2割		
			自己負担上限額（外来＋入院）		
	一般	高額かつ長期 ※3	人工呼吸器等 装着者		
生活保護	—		0	0	0
低所得Ⅰ	市町村民税 非課税（世帯）	本人年収 ～80万円	2,500	2,500	1,000
低所得Ⅱ		本人年収 80万円超～	5,000	5,000	
一般所得Ⅰ	市町村民税 7.1万円未満 （参考額：160万円～370万円）		10,000	5,000	
一般所得Ⅱ	市町村民税 7.1万円以上 25.1万円未満 （参考額：370万円～810万円）		20,000	10,000	
上位所得	市町村民税 25.1万円以上 （参考額：810万円～）		30,000	20,000	
入院時の食費			全額自己負担		

○自己負担額は2割になります。

なお、後期高齢者で負担額が1割の方は、そのまま1割負担となります。

○外来・入院問わず、指定医療機関で医療費を支払い、その月の合計額が自己負担上限額（月額）に達した場合、その月はそれ以上の支払いはありません。

### ※3 高額かつ長期について

指定難病の受給者のうち、所得の階層区分について一般所得Ⅰ以上の方が、支給認定を受けた指定難病に係る月ごとの医療費総額について5万円を超える月が年間6回以上ある場合は、月額の医療費の自己負担額を軽減します。

## ●【特定医療費（指定難病）自己負担上限額管理票】

○指定医療機関（病院・診療所・薬局・訪問看護事業所等）を受診する際は受給者証とともに、【自己負担上限額管理票】を受付に提出し、かかった医療費を記載してもらってください。

○自己負担上限額を超えた場合でも、必ず医療機関や薬局の窓口で提示して記載してもらってください。また直近12ヶ月分は保管しておいて下さい。

※自己負担上限額の算定（高額かつ長期の申請〈上記※3参照〉の証明のため）や更新の際の審査（重症度の基準を満たさない場合）に使用する場合があります。

## ● 指定医療機関

○都道府県（大分県又は大分県外の都道府県・指定都市）が指定した指定医療機関（病院・診療所・薬局・訪問看護事業所等）でのみ、医療費助成を受けることができます。

○大分県外の医療機関を受診するときは、その医療機関が所在の都道府県・指定都市の指定を受けていれば、大分県の受診者証で受診可能です。受診を希望する医療機関が都道府県・指定都市の指定を受けているかは、各都道府県・指定都市のホームページでご確認するか、直接医療機関へお問い合わせください。

## ● 受給者証の使用方法

特定医療費（指定難病）受給者証									
公費負担者番号	5	4	4	4	6	0	*	*	
受給者番号	*	*	*	*	*	*	*	*	*
受給者	住所	大分市*****							
	氏名	*****							
	生年月日	昭和○年△月△日	①	性別					
	保険者	*****							
	記号・番号	*****				適用区分			
保険種別	*****								
病名 1	*****								
病名 2	②								
病名 3									
病名 4									
有効期間	④ 令和○年○月○日～令和○年12月31日								
階層区分	一般所得I(一般)	自己負担上限額	月額10,000円						
	大分県知事								⑤
交付年月日	令和○年○月○日								

指定医療機関名	③ 各都道府県または政令指定都市が指定した指定医療機関			
	※指定医療機関の皆様へ 適用区分について 令和4年10月1日から後期高齢者の自己負担限度額が見直されることに伴い、下記の区分を追加しました。 8：一般I（1割負担） 9：一般II（2割負担）			
負担	人工呼吸器等 装	非該当	高額かつ長期	非該当
	軽症高額該当	非該当	同一世帯 受給者	非該当
※ 受診の際には、医療機関の窓口必ずこの受給者証とともに『自己負担上限額管理票』を提示してください。 ※ この受給者証の使用に際しては、裏面の注意事項を確認してください。				
問合先				

医療費の公費負担  
制度について

水色：一般  
オレンジ色：生活保護受給者

- ① の本人が利用できます。
- ② に記載された病名の治療に対してのみ適用できます。
- ③ 指定医療機関であれば利用できます。（指定医療機関について P10 参照）  
受診する際、この受給者証と【自己負担上限額管理票】を医療機関窓口にて提出してください。
- ④ に記載された期間において利用できます。有効期間満了後も受給者証の交付を受けるためには、更新手続きが必要になります。（更新について下記参照）
- ⑤ 本人が1か月に負担する医療費の上限額です。この額に達して以降のお支払いはありません。  
保険給付の対象外のもの（例：診断書作成費用、往診車の車代、入院の際の差額ベット代、食事等）については医療費助成の対象になりません。  
\* 受給者証の記載事項（住所・氏名・保険証等）に変更が生じた場合、14日以内に届出をしてください。（変更申請について P12 参照）

## 2 更新の手続き

有効期間の満了前に更新の手続きが必要になります。（年1回、6月中旬～9月頃）  
更新の手続きに必要な書類は、6月中旬頃にご自宅へ郵送いたします。

\* 詳しい日程等は更新のご案内に同封します。

### 3 変更申請

受給者証の記載内容に変更があった場合、変更申請が必要です。

必要なもの <small>※すべての変更申請に共通</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定医療費（指定難病）受給者証</li> <li>・特定医療費（指定難病）変更申請書または変更届出書（*） （変更内容によって様式が異なります）</li> <li>・変更内容によって必要なものについて<u>下記にて確認</u></li> </ul>
--------------------------------------	--

（\*）は、大分市保健所 保健予防課の窓口にあります。大分県健康づくり支援課のホームページからもダウンロード可能です。



#### ● 変更内容別の必要書類

変更内容	必 要 書 類
氏 名	戸籍抄本・住民票・保険証・運転免許証等のいずれか
住 所	新住所の分かるもの（メモで可）
保 険 証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険証（P.9 ※1 にて必要分を確認）</li> <li>・マイナンバー（受給者・届出済者は不要）（P.9 ※1 にて必要分を確認）</li> <li>・保険者からの情報提供に係る同意書（*）</li> <li>・受給者の前年の障害年金等が確認できる年金証書等（受給がある場合）</li> </ul>
病名の変更	診断を受けた指定難病の臨床調査個人票 （指定医が記入したもの）
病名の追加	新規申請に必要な書類一式（P.9 参照）

（\*）は、大分市保健所保健予防課の窓口にあります。大分県健康づくり支援課のホームページからもダウンロード可能です。

**自己負担額の変更のある場合**（自己負担額の変更が適用されるのは、申請の翌月1日からとなります。）

生活保護	生活保護に該当した場合 ⇒生活保護受給証明書等 （生活福祉課・生活福祉東部事務所・生活福祉西部事務所で交付を受けて下さい。）
人工呼吸器等装着	認定を受けた指定難病の臨床調査個人票 （該当箇所を指定医が記入したもの）
同一世帯受給者	同一医療保険加入者の中に指定難病または小児慢性特定疾病の受給者証をお持ちの方がいる場合 ⇒両者の受給者証
高額かつ長期 (P.10 ※3 参照)	認定を受けた指定難病に係る医療費総額が5万円を超える月が年間6か月以上ある場合 ⇒自己負担上限額管理票

## 4 再交付申請（紛失・破損等の場合）

必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定医療費（指定難病）受給者証（紛失の場合は不要）</li> <li>・ 特定医療費（指定難病）受給者証再交付申請書（*）</li> </ul>
-------	---

（\*）は、大分市保健所 保健予防課の窓口にあります。大分県健康づくり支援課のホームページからもダウンロード可能です。

## 5 返還届（県外転出・治癒・診療中止・死亡等の場合）

必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定医療費（指定難病）受給者証</li> <li>・ 特定医療費（指定難病）受給者証返還届（*）</li> </ul>
-------	--

（\*）は、大分市保健所 保健予防課の窓口にあります。大分県健康づくり支援課のホームページからもダウンロード可能です。

県外に転出した場合は、速やかに転入先の都道府県・指定都市に転入の申請を行う必要があります。詳しくは、大分市保健所 保健予防課 管理担当班（TEL535-7710）にお問い合わせください。

## 6 転入申請（県外から転入した場合）

県外の都道府県において受給者証をお持ちの方が、大分市へ転入（住民票を異動）し、引き続き受給者証の交付を受けようとする場合は、転入の申請を行う必要があります。

必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 転入前の特定医療費（指定難病）受給者証・自己負担上限額管理票</li> <li>② 保険証</li> <li>③ マイナンバー } P9 ※1 にて必要分を確認</li> <li>④ 申請者の身元確認ができるもの（運転免許証、マイナンバーカード等）</li> <li>⑤ 特定医療費（指定難病）転入申請書（*）</li> </ul>
-------	---

（\*）は、大分市保健所 保健予防課の窓口にあります。

## 7 治療費請求（償還払い）

受給者証の申請をしてから交付されるまでに受診した場合や、やむを得ず受給者証を提示せず  
に受診した場合の医療費・薬代については、治療費請求（償還払い）を行うことができます。

必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 特定医療費（指定難病）請求書</li> <li>② 特定医療費（指定難病）証明書 …医療機関等に記入してもらってください</li> <li>③ 特定医療費（指定難病）受給者証</li> <li>④ 特定医療費（指定難病）自己負担上限額管理票</li> <li>⑤ 保険証</li> <li>⑥ 振込先がわかる通帳等</li> </ul>
-------	---

・①②は大分市保健所 保健予防課の窓口にあります。また、大分県健康づくり支援課ホームページからもダウンロード可能です。  
新規の受給者証交付の際にもお渡ししています。

・【請求者・口座名義人】と【受給者】が異なる場合は、委任状（①の請求書内に記入）が必要になります。

「3 変更申請」～「7 治療費  
請求（償還払い）」の申請先

大分市保健所 保健予防課 管理担当班 （TEL535-7710）

## 8 その他、注意事項

### ●特定医療費の支給（自己負担の考え方）

- 特定医療費の支給に当たっては、医療保険制度・介護保険制度による給付を優先します（保険優先制度）。
- 通常、医療機関の窓口では、医療費の7割を医療保険が負担し、残りの医療費の3割を患者が自己負担することになりますが、特定医療費の支給認定を受けた場合は、指定医療機関での窓口負担が、自己負担上限額（月額）までとなります。ただし、自己負担上限額と医療費の2割を比較して、自己負担上限額の方が上回る場合は、医療費の「2割」が窓口での負担額となります。

### ●高額療養費制度や、健康保険組合の付加給付制度により払い戻しを受けることが出来る治療費については、特定医療費（指定難病）請求に含むことができません。

高額療養費制度や、保険組合の付加給付制度の詳しい内容については、各医療保険の保険者（健康保険組合や国民健康保険等）にお問い合わせください。

### ●身体障害者手帳（1～3級）をお持ちの方で【障害者医療証】をお持ちの方は・・・

特定医療費（指定難病）受給者証の自己負担上限額内においても、【障害者医療証】における医療費助成は受けられます。（障害者医療証について P.26 参照）



## 難病の方が利用できるサービスの種類と内容

■ 難病の方が利用できるおもなサービスの種類です。詳しくは掲載ページをご覧ください。

### ■ 各種手当について

● 障害手当と年金について P24

### ■ 在宅介護（ホームヘルパー）

● 介護保険の対象者 P35

● 身体障害者手帳を持っている方 P17

● 難病の方 P17

### ■ 短期入所（ショートステイ）

● 介護保険の対象者 P35

● 身体障害者手帳を持っている方 P17

● 難病の方 P17

● 人工呼吸器を装着している方へ  
（在宅人工呼吸器使用患者支援事業） P38

● 災害時の備え P40

● 難病の療養上の相談について P37

● 就労について P38

### その他

● あったかは一と駐車場  
● ヘルプマーク ヘルプカード P39

● 生活の不安・困りごと P48

● 患者会・家族会について P45

### その他

● 関係機関連絡先一覧について P47・P48

## Ⅱ 障害福祉サービス

### 1 障害者総合支援法によるサービス（問い合わせ先：大分市障害福祉課 TEL 537-5658）

平成 25 年度より障害者総合支援法により、障がいの範囲に難病等が加わりました。

身体障害者手帳の有無にかかわらず、必要とする障害福祉サービスを受けるための申請ができます。詳しくはお問い合わせください。

#### ● 対象となる難病の範囲

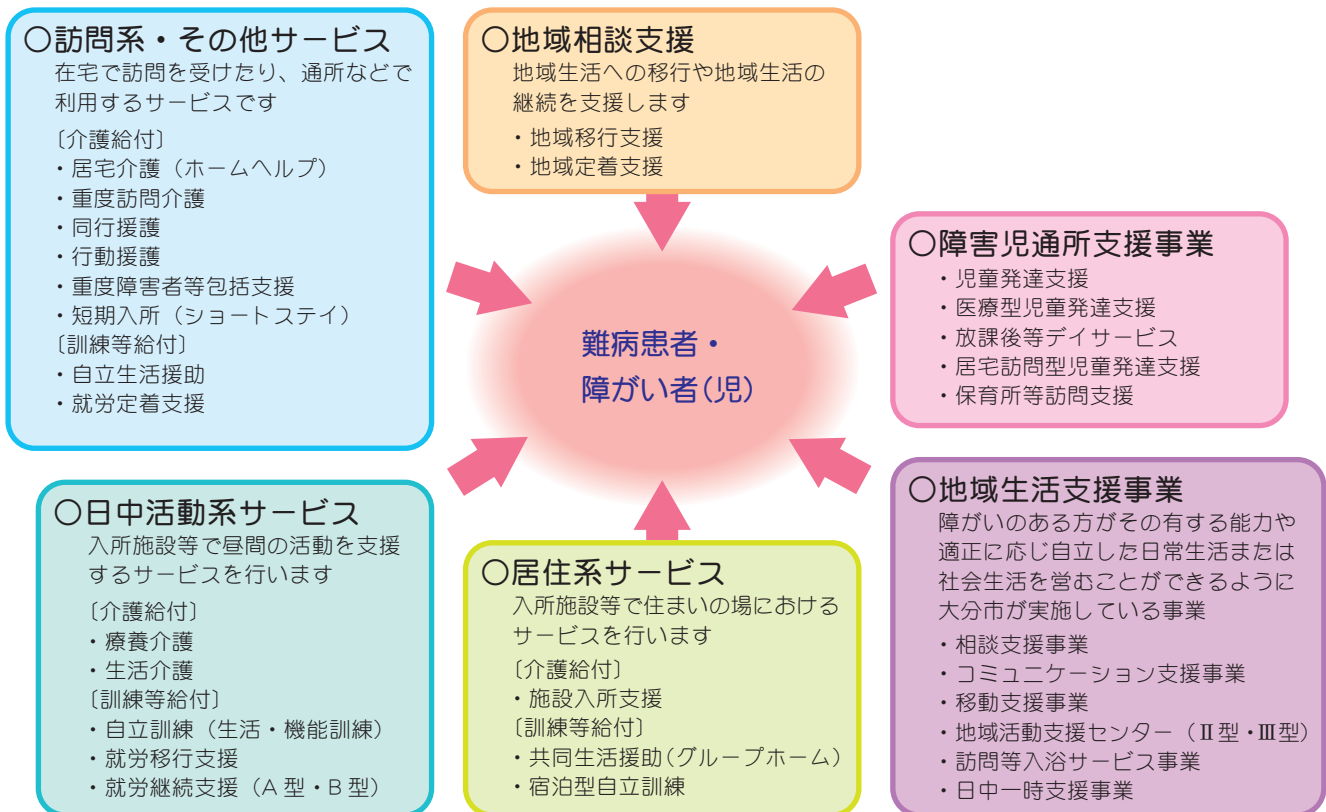
指定難病 338 疾患はすべて対象（※指定難病 P 4～P 7 参照）

\* 受給者証をお持ちでない方は、医師の診断書で申請できます。

#### ● 申請先

大分市役所 本庁舎 1 階 障害福祉課 TEL 537-5658

#### ● 障害福祉サービスの種類



● 障害福祉サービスの内容

訪問系・その他サービス

居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で家事や介護など日常生活の支援を行います。 (代読・代筆含む)
重度訪問介護	重度の障がいがあり、常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排せつ、食事などの介助や外出時に移動支援を行います。
同行援護	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する方に、移動に必要な情報提供、移動の援護などの外出支援を行います。
行動援護	知的障がいや精神障がいにより行動上著しい困難があるため、介護の必要な人が、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などをします。
短期入所 (ショートステイ)	家族などの介護者の理由(疾病・出産・冠婚葬祭・学校等の公的行事及び旅行等)により、施設に短期間、入所することができます。
重度障害者等包括支援	常時介護が必要な人の中でも、その必要性が非常に高いと認められた方には、ホームヘルプサービス、日中活動サービス及び短期入所等の複数のサービスを包括的に行います。
自立生活援助	定期的な訪問や障がいのある方から相談・要請があった際に、助言や医療機関等との連絡調整等必要な支援を行います。
就労定着支援	就労移行支援等を利用し一般就労後6月を経過した人に対し、引き続き就労の継続を図るため一定の期間にわたり事業所・家族との連絡調整等の支援をします。

日中活動系サービス

療養介護	医療の必要な障がいのある方で常に看護が必要な人に、医療機関で機能訓練や療養上の管理、看護、介護、日常生活上の援助をします。
生活介護	常に介護が必要な人に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供します。
自立訓練 (生活・機能訓練)	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体の機能や生活能力向上のために必要な訓練をします。
就労移行支援	一般就労を希望する方に、一定の期間における生産活動やその他の活動の機会の提供、知識や能力向上のための訓練をします。
就労継続支援 (A型・B型)	一般就労が困難な人に、就労や生産活動などの機会を提供するとともに、知識や能力向上のための訓練をします。

居住系サービス

施設入所支援	施設に入所する方に、入浴や排せつ、食事の介護などをします。
共同生活援助 (グループホーム)	地域で共同生活を営む人に、住居における相談や日常生活上の援助を行います。
宿泊型自立訓練	自立した日常生活や社会生活ができるよう、居宅などを利用してもらい日常生活能力向上のための支援や相談などを行います。

地域相談支援

地域移行支援	障害者支援施設等に入所している方や精神科病院に入院している方など地域における生活に移行するために重点的な支援を必要としている方に対して、住居の確保など地域での生活に移行するための活動に関する相談やその他必要な支援を行います。
地域定着支援	居宅において単身等で生活する障がいのある方に対して、常時連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態等に相談、その他必要な支援を行います。

障害福祉サービス

障害児通所支援事業

児童発達支援	就学前の児童に対して、日常生活における基本的な動作の指導や知識技能の付与、集団生活への適応訓練などを行います。
医療型児童発達支援	肢体不自由児に対して、指定された医療機関において児童発達支援や治療を行います。
放課後等デイサービス	就学している児童に対して放課後又は学校の休業日に施設に通わせ、生活能力向上のための訓練や社会との交流促進などの必要な支援を行います。
居宅訪問型児童発達支援	医療的ケア児等であって、障害児通所支援を利用するために外出することが著しく困難な児童に対し、居宅を訪問して発達支援を行います。
保育所等訪問支援	保育所等を訪問し、集団生活に適応するための専門的な支援等を行います。

地域生活支援事業

相談支援事業	障がいのある方やその家族などの相談に応じ、必要な情報提供等を行います。
意思疎通支援事業	聴覚や視覚等の障がいにより意思疎通に支障がある方について、手話通訳や要約筆記、盲ろう者通訳介助を実施する者の派遣などを行います。
日常生活用具給付事業	重度障がいのある方等に、自立生活支援用具等日常生活用具購入費の給付を行います。
移動支援事業	屋外での移動に困難な障がいがある方について、外出のための支援を行います。
地域活動支援センター	障がいのある方に対して、創作活動や生産活動の提供、社会との交流促進などの便宜を図ります。
訪問等入浴サービス事業	居宅における入浴が困難な障がい者に対して、居宅又は施設で入浴のサービスを行います。
日中一時支援事業	自宅で介護を行う方が病気などで一時的に支援が必要になった場合に、施設において、日中の預かりサービスを行います。

種 目		障 害 及 び 程 度		耐用年数	基準額
介護・訓練支援用具	特殊寝台	①下肢又は体幹機能障害 2 級以上 ②難病患者等(※7)で寝たきりの状態にあるもの※8		8 年	154,000
	特殊マット	①下肢又は体幹機能障害 1 級 (常時介護を要するものに限る) (18 歳未満に限り 2 級以上)又は療育手帳 A1、A2 ②難病患者等(※7)で寝たきりの状態にあるもの※8	原則として 3 歳以上	5 年	19,600
	特殊尿器	①下肢又は体幹機能障害 1 級 (常時介護を要するものに限る) ②難病患者等(※7)で自力で排尿できないもの※8	原則として 学齢児以上	5 年	67,000
	入浴担架	下肢又は体幹機能障害 2 級以上 (入浴に当たって、家族等他人の介助を要するものに限る)	原則として 3 歳以上	5 年	82,400
	体位変換器	①下肢又は体幹機能障害 2 級以上 (下着交換に当たって、家族等他人の介助を要するものに限る) ②難病患者等(※7)で寝たきりの状態にあるもの※8	原則として 学齢児以上	5 年	15,000
	移動用リフト	①下肢又は体幹機能障害 2 級以上 ②難病患者等(※7)で下肢又は体幹機能に障がいのあるもの※8	原則として 3 歳以上	4 年	159,000
	訓練いす(児のみ)	下肢又は体幹機能障害 2 級以上	原則として 3 歳以上	5 年	33,100
	訓練用ベット	①下肢又は体幹機能障害 2 級以上(児のみ) ②難病患者等(※7)で下肢又は体幹機能に障がいのあるもの※8	原則として 学齢児以上	8 年	159,200
自立生活支援用具	入浴補助用具	①下肢又は体幹機能障害 (入浴に介護を必要とするもの) ②難病患者等(※7)で入浴に介護を有するもの※8	原則として 3 歳以上	8 年	90,000
	便器	①下肢又は体幹機能障害 2 級以上 ②難病患者等(※7)で常時介護を要するもの※8	原則として 学齢児以上	8 年	9,850
	頭部保護帽	平衡機能又は下肢もしくは体幹機能障害のもの又は療育手帳 A1、A2 で癲癇の発作等により頻繁に転倒するもの		3 年	※1
	T 字状・棒状のつえ	①平衡機能又は下肢もしくは体幹機能障害 ②難病患者等(※7)で下肢が不自由なもの※8		4 年	※2
	移動・移乗支援用具	①平衡機能又は下肢もしくは体幹機能障害 ②難病患者等(※7)で下肢が不自由なもの※8		8 年	60,000
	特殊便器	①上肢障害 2 級以上 又は療育手帳 A1、A2 で訓練を行っても自ら排便後の処理が困難なもの ②難病患者等(※7)で上肢機能に障害があるもの※8	原則として 学齢児以上	8 年	151,200
	火災警報機	①障害等級 2 級以上又は療育手帳 A1、A2 のもの (火災発生の感知・避難が困難な障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯) ②火災発生の感知・避難が困難な難病患者等(※7)のみの世帯及びこれに準ずる世帯※8		8 年	15,500
	自動消火器	①障害等級 2 級以上又は療育手帳 A1、A2 のもの (火災発生の感知・避難が困難な障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯) ②火災発生の感知・避難が困難な難病患者等(※7)のみの世帯及びこれに準ずる世帯※8		8 年	28,700
	電磁調理器	視覚障害 2 級以上(視覚障害のみの世帯及びこれに準ずる世帯) 又は療育手帳 A1、A2	原則として 18 歳以上	6 年	41,000
	歩行時間延長信号機用小型送信機	視覚障害 2 級以上	原則として 学齢児以上	10 年	7,000
	聴覚障害者屋内信号装置	聴覚障害 2 級以上 (聴覚障害のみの世帯及びこれに準ずる世帯)		10 年	87,400

種 目	障 害 及 び 程 度		耐用年数	基準額
透析液加湿器	腎臓機能障害 3 級以上 (自己連続携帯式腹膜灌流法による透析療法を行うもの)	原則として 3 歳以上	5 年	51,500
ネブライザー (吸入器)	①呼吸器機能障害 3 級以上 ②①と同程度の身体障がい者であって必要と認められるもの※8 ③難病患者等(※7)で呼吸器機能に障がいのあるもの※8	原則として 学齢児以上	5 年	36,000
電気式たん吸引器 (自動吸引システム含む)	①呼吸器機能障害 3 級以上 ②①と同程度の身体障がい者であって必要と認められるもの※8 ③難病患者等(※7)で呼吸器機能に障がいのあるもの※8 ※自動吸引システムの場合、必ず意見書が必要	原則として 学齢児以上	5 年	56,400 (自動吸引システムの場合 120,000)
動脈血中酸素飽和度測定器 (パルスオキシメーター) ※8	①呼吸器又は心臓機能障害 3 級以上 かつ人工呼吸器の装着が必要なもの、気管カニューレ等の装着を行っているもの及び酸素吸入を行っているもの※8 ②難病患者等(※7)で人工呼吸器の装着が必要なもの、気管カニューレ等の装着を行っているもの及び酸素吸入を行っているもの※8		5 年	100,000
酸素ボンベ運搬車	在宅酸素療法を行うもの		10年	17,000
視覚障害者用体温計 (音声式)	視覚障害 2 級以上 (視覚障害のみの世帯及びこれに準ずる世帯)	原則として 学齢児以上	5 年	9,000
視覚障害者用体重計	視覚障害 2 級以上 (視覚障害のみの世帯及びこれに準ずる世帯)	原則として 学齢児以上	5 年	18,000
視覚障害者用血圧計	視覚障害 2 級以上	原則として 18 歳以上	5 年	12,000

※1 頭部保護帽

身体障害者手帳所持者に交付する場合

◎オーダーメイドによる製品

- A スポンジ、革を主材料に製作 ..... 15,200
- B スポンジ、革、プラスチックを主材料に製作 ..... 36,750

◎レディーメイドによる製品

- A スポンジ、革を主材料に製作 ..... 上記金額の 80% の範囲内の額
- B スポンジ、革、プラスチックを主材料に製作 ..... 上記金額の 80% の範囲内の額

療養手帳所持者に交付する場合 ..... 12,160

◎軽金属を主体とし塗装無しのもの

- ..... 3,000
- ・夜光材付とした場合は 410 円 (全面夜光材付とした場合は 1,200 円) 増しとすること
- ・外装に白色又は黄色ラッカーを使用した場合は 260 円増しとすること
- ・価格は 1 本当たりのものであること

※7 難病患者等

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令第 1 条に規定する特殊の疾病に該当するもの (身体障害者手帳の所持者以外は意見書の内容で給付決定を行う)

※2 つえ (T 字状・棒状のつえ)

- ◎木材を主体としニス塗装をほどこしたもの ..... 2,200

※8 意見書が必要です

(単位: 円)

● 日常生活用具

種 目		障 害 及 び 程 度		耐用年数	基準額
情報 意思 疎 通 支 援 用 具	携帯用会話補助装置	音声機能若しくは言語機能障害者又は肢体不自由者であって、発声・発語に著しい障がいをもつもの	原則として学齢児以上	5年	98,800
	情報・通信支援用具	視覚又は上肢障害2級以上 (周辺機器や支援ソフトを使用しなければ、パソコンの利用が困難なもの)	原則として学齢児以上	5年	100,000
	点字ディスプレイ	①視覚障害及び聴覚障害の重複障害者であって必要と認められるもの (原則として視覚障害2級以上かつ聴覚障害2級) ②視覚障害であって必要と認められるもの (原則として視覚障害2級以上)		6年	383,500
	点字器	視覚障害者		7年(携帯用5年)	※3
	点字タイプライター	視覚障害2級以上 (原則として就労若しくは就学しているか又は就労が見込まれるもの)		5年	63,100
	視覚障害者用ポータブルレコーダ	視覚障害2級以上	原則として学齢児以上	6年	85,000
	視覚障害者用活字等文字読み上げ装置	視覚障害2級以上	原則として学齢児以上	6年	99,800
	視覚障害者用拡大読書器	視覚障害者 (本装置により文字等を読むことが可能になるもの)	原則として学齢児以上	8年	198,000
	視覚障害者用時計	視覚障害2級以上	原則として学齢児以上	10年	触読 10,300 音声 13,300
	視覚障害者用地デジ対応ラジオ	視覚障害2級以上	原則として学齢児以上	6年	29,000
	聴覚障害者用通信装置	聴覚障害又は発生発語に著しい障がいをもつもの (コミュニケーション、緊急連絡等の手段として必要と認められるもの)	原則として学齢児以上	5年	71,000
	聴覚障害者用情報受信装置	聴覚障害者であって、本装置によりテレビの視聴が可能になるもの		6年	88,900
	人工喉頭	喉頭摘出者であって音声・言語機能障害者		笛式4年 電動式5年	※4
	視覚障害者用ワードプロセッサ(共同利用)	視覚障害者	原則として学齢児以上		1,030,000
	点字図書	視覚障害者			
	人工内耳用体外機(スピーチプロセッサ)	聴覚障害者(児)であって、現に装用している体外機(スピーチプロセッサ)が装用後5年間を経過しているもの (医療保険、動産保険等の他制度で助成対象となる場合を除く)		5年	1,000,000
人工内耳用電池	聴覚障害者(児)であって、人工内耳を装用しているもの			※5	
人工鼻(埋込型用人工鼻)	喉頭摘出者であって音声・言語機能障害者 (常時埋込型用人工鼻を使用するものに限る) (医療保険等の他制度で助成対象となる場合を除く)		1月	23,100	
暗所視支援眼鏡	①視覚障害がある者であって、市長が当該用具の装用効果があり必要と認めるもの ※8 ②難病患者等(※7)であって、市長が当該用具の装用効果があり必要と認めるもの ※8		8年	395,000	

種 目		障 害 及 び 程 度		耐用年数	基準額
排泄管理支援用具	ストーマ用装具 (消化器系、尿路系、消化器・尿路系) (洗腸用具を含む)	ストーマ造設者(一時的な造設を除く)		1月～12月 (1月ずつでの申請が可能)	※6
	紙おむつ等 ※8(初回申請時のみ)	自力での排泄または介助による定時排泄が困難なもので以下のいずれかの要件をみたすもの ①先天性疾患(先天性鎖肛を除く)に起因する神経障害による高度の排尿機能障害または高度の排便機能障害のあるもの ②先天性鎖肛に対する肛門形成術に起因する高度の排便機能障害のあるもの ③脳原性運動機能障害(出生からおおむね3歳未満で発症した非進行性の脳病変による)により、排尿または排便の意思表示が困難なもの ④療育手帳 A1、A2 ⑤「両上肢機能全廃 1級かつ両下肢機能全廃 1級」又は体幹機能障害 1級			
	収 尿 路	高度の排尿機能障害者		1年	
住宅改修費	居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	P23 参照			200,000

※3 点字器

- ◎標準型
  - A 32マス 18行、両面書真鍮板製 .....10,400
  - B 32マス 18行、両面書プラスチック製 .....6,600
- ◎携帯用
  - A 32マス 4行、片面書アルミニウム製 .....7,200
  - B 32マス 12行、片面書プラスチック製 .....1,650

・価格は点筆を含むものであること

※4 人工喉頭

- ◎笛式 .....5,000
  - ・気管カニューレ付とした場合は3,100円増しとすること
- ◎電動式 .....70,100
  - ・価格は電池又は充電器を含むものであること

※5 人工内耳用電池 (1か月分) .....2,000

※6 ストーマ用装具等 (1か月分)

- ◎消化器系 ..... 9,500
- 尿路系 ..... 12,500
- 消化器・尿路系 ..... 22,000
- 紙おむつ ..... 12,000
- 収尿器
- ◎男性用
  - A 普通型 ..... 7,700
  - B 簡易型 ..... 5,700
- ◎女性用
  - A 普通型 ..... 8,500
  - B 簡易型 ..... 5,900

※7 難病患者等

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令第1条に規定する特殊の疾病に該当するもの(身体障害者手帳の所持者以外は意見書の内容で給付決定を行う)

※8 意見書が必要です

(単位:円)



## ● 居宅生活動作補助用具の給付（住宅改修費）

在宅の心身障がい者（児）のための改修工事（用具の購入を含む）の一部を補助します。

対 象 者	<p>①下肢・体幹機能障害を有し、障害等級 1～3 級の人</p> <p>②乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害を有する人 障害等級 1～3 級の人（移動機能障害に限る）</p> <p>③肢体不自由のみの総合等級 2 級以上でかつ、下肢・体幹機能障害を有する人</p> <p>④難病患者等で下肢又は体幹機能に障害を有する人</p> <p>※ただし、児童については学齢期以上の身体障がい児で、上記に該当するもの</p>
住宅改修場所	<p>①手すりの取付け</p> <p>②段差の解消</p> <p>③滑り防止及び移動円滑化等のための床又は通路面の材料の変更</p> <p>④引き戸等への扉の取替</p> <p>⑤洋式便器等への便器の取替</p> <p>⑥上記①～⑤の住宅改修に付帯して必要となる工事</p>

## ● 大分市医療的ケア児・者非常用発電装置等整備事業

在宅で医療的ケアが必要な方に対して、災害時にも必要となる電源を確保するため、非常用発電装置等の購入費にかかる補助金を交付します。

対 象 者	<p>以下の 1～3 をすべて満たす方</p> <p>1 <u>大分市の住民基本台帳に登録がある方</u> (医療機関等に入院中、障害者支援施設等に入所中の方は対象外)</p> <p>2 <u>下記の①～⑥の医療的ケアのうち、いずれかを要する子ども及び成人</u></p> <p>①人工呼吸器の使用（NPPV、ネイガルハイフロー、パーカッションベンチレーター、排痰補助装置、高頻度胸壁振動装置を含む）</p> <p>②酸素療法</p> <p>③経管栄養（持続経管注入ポンプ使用のみ）</p> <p>④中心静脈カテーテル（中心静脈栄養、肺高血圧症治療薬、麻薬など）</p> <p>⑤上記以外の注射管理（持続皮下注射ポンプ使用のみ）</p> <p>⑥自宅における継続した透析（在宅血液透析や腹膜透析）</p> <p>3 <u>災害時に一人で避難することが困難で、避難行動要支援者名簿に記載され、「大分市避難行動要支援者個別避難計画（個別計画）」を作成中または作成済の方</u></p>
対象用具	1. 発電機 2. ポータブル電源 3. カーインバーター のいずれか
補助金の額	120,000 円（上限額）
利用者負担	なし（上限額を超える分は自己負担）
提出書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大分市医療的ケア児者非常用発電装置等整備事業費補助金交付申請書</li> <li>・大分市避難行動要支援者個別避難計画（個別計画）（福祉保健課の受付印があるもの）</li> <li>・医療的ケアを確認できる資料（医師の指示書の写し等）（事前にご相談ください）</li> <li>・購入する用品の見積書および用品の種類が分かる資料</li> <li>・誓約書</li> </ul>

## 2 身体に障がいのある方へのサービス（問い合わせ先：大分市障害福祉課 TEL537-5786）

### (1) 身体障害者手帳の申請

障害区分 (本人状態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害</li> <li>・平衡機能障害</li> <li>・肢体不自由</li> <li>・内部障害（心臓・腎臓・呼吸器・膀胱・直腸・小腸・肝臓等）</li> <li>・聴覚障害</li> <li>・音声・言語・そしゃく機能障害</li> </ul>
必要な書類等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①申請書</li> <li>②所定の診断書（指定医の作成したもの）</li> <li>③顔写真（4 cm × 3 cm縦長） 1枚（ポラロイドは不可）</li> <li>④マイナンバーがわかるもの</li> <li>⑤来所者の身元確認ができるもの（免許証等）</li> </ul>
申請先	市役所障害福祉課、各支所、東部・西部保健福祉センター 各連絡所（今市除く）

\* 全ての難病の患者さんに適応となるわけではありませんので、主治医と相談の上、申請してください。

### (2) 手当と年金

#### ●特別障害者手当（国の制度）

最重度の心身障がいがある人に支給される手当です。

対象者	20歳以上の人で、著しく重度の心身障がい等があり、日常生活において常時特別の介護を必要とする障がいのある人
手当月額	27,980円（令和5年4月1日現在）

\* 手当月額は国の基準により各年度で改正があります。

#### ●障害児福祉手当（国の制度）

最重度の心身障がいがある人に支給される手当です。

対象者	20歳未満の人で、重度の心身障がい等があり、日常生活において常時の介護を必要とする障がいのある人
手当月額	15,220円（令和5年4月1日現在）

\* 手当月額は国の基準により各年度で改正があります。

#### ●大分市障害者福祉手当（市の制度）

上記の対象にならない人で、在宅生活かつ本人が市民税非課税の方

対象者	市内に住所を有する障がいのある人		
手当月額	障害総合等級	18歳以上	18歳未満
	1・2級	1,200円	1,600円
	3・4級	800円	1,300円
	5・6級	500円	1,000円

●特別児童扶養手当（国の制度）

20歳未満の障がいがある人を監護している父母または養育者に支給される手当です。

●児童扶養手当（国の制度）

父または母と生計を同じくしていない児童、父または母が政令に定める障がいの状態にある家庭の児童を監護・養育する人に支給される手当です。

お問い合わせは、大分市子育て支援課（TEL537-5793）になります。

●心身障害者扶養共済制度

障がいのある人を扶養している保護者が加入し、保護者に万一（死亡または重度障がい）のことがあったときに、障がいのある人に対して終身一定額の年金が支給されます。任意加入の制度です。

支給条件等詳しくは障害福祉課へ直接お問い合せください。（TEL537-5786）

●障害基礎年金

①～③の条件すべてに該当する人が受給できます。

- ①障がいの原因となった病気やけがの初診日（初めて医師等の診療を受けた日）が次のいずれかの間にあること
  - ・国民年金加入期間
  - ・20歳前または日本国内に住んでいる60歳以上65歳未満の人で年金制度に加入していない期間

※老齢基礎年金を繰り上げて受給している人を除きます。
- ②障がいの状態が、障害認定日（初診日から1年6ヵ月を経過した日、もしくは1年6ヵ月以内に症状が固定した日）、または、20歳に達したときに、国民年金法施行令で定める1級または2級に該当していること
 

※身体障害者手帳および精神障害者保健福祉手帳の1級・2級とは基準が異なります。
- ③初診日の前日に、初診日がある月の2ヵ月前までの被保険者期間で、保険料納付済期間と保険料免除期間を合わせた期間が3分の2以上あること
 

（初診日が令和8年4月1日前までにあり、65歳未満である場合は、初診日の前日において、初診日がある月の2ヵ月前までの直近1年間に保険料の未納期間がないこと）

※20歳前の年金制度に加入していない期間に初診日がある場合は、納付条件は不要です。

※障害認定日に障がいの程度が軽い場合でも、その後、障がいが重くなり、国民年金法施行令で定める1級または2級に該当する状態になった時は、65歳に達する日の前日（誕生日の前々日）までに請求すれば受給できます。

相談窓口

初診日に、①に該当する人（ただし、第3号被保険者*を除く）	大分年金事務所 (P.48参照) 大分市国民年金室 (TEL537-5617)
初診日に、厚生年金の被保険者であった人や第3号被保険者	大分年金事務所 (P.48参照)
初診日に、共済組合の組合員であった人	各共済組合

\*第3号被保険者とは…厚生年金・共済組合の加入者である第2号被保険者に扶養されている配偶者のことです。

### (3) 医療費の助成

障がいがある人が、ひと月の同一医療機関等で支払った 1,000 円以上の医療費の自己負担分（保険診療分）を助成します。

\* 本制度が受給できるのは、障害者医療証の交付を受けた方のみです。

#### ●障害者医療証の交付申請について

対象者	大分市内に住民登録があり 身体障害者手帳 1 級～3 級をお持ちの方（所得制限あり） ※ただし、生活保護受給中の方またはひとり親家庭等医療費助成を受給中の児童は対象となりません。
必要なもの	①身体障害者手帳 ②預金通帳（本人名義） ③健康保険証 ④マイナンバーが分かるもの ⑤代理人の身分証
申請先	市役所障害福祉課、各支所、東部・西部保健福祉センター 各連絡所（今市除く）

#### ●医療費助成金の支給申請について

申請方法	①医療機関で受診・支払の際に医療証を提示 ②原則、受診月（支払月）の 3 ヶ月後の 25 日に助成金の振込 ※ただし、県外の医療機関や鍼灸院等の受診については、申請書の提出による手続きが必要となります。
手続きに必要な書類等	(1) 障害者医療証（医療機関に提示） ※申請書を提出する場合は、手続き時に障害者医療費助成金支給申請書、障害者医療証、健康保険証が必要となります。
受付場所	(申請書提出の場合) 市役所障害福祉課 各支所 西部・東部保健福祉センター 各連絡所（今市除く）
注意事項	・申請期間は受診の翌月から 1 年以内です 【例】（令和 5 年 4 月診療分は令和 6 年 4 月末まで） ・「高額療養費」や「付加給付金」などを除いた金額を助成します ・次の内容は助成対象外です（入院時食事療養費、健康診断、予防接種、文書料、ベッドの差額代等）

#### (4) 補装具の購入および修理

日常生活における不自由さを補うために購入（修理）する補装具の費用を助成します。

日常的・長期的に使用する補装具が対象です。

購入（作製）前のみの事前申請受付となります。

※手帳交付を受けていない難病患者の方々についても一部が給付対象となりました。

##### 補装具一覧

障がいの種類	視覚	聴覚	肢体 不自由	心臓 呼吸器	介護 保険	児童 のみ	県 判定
視覚障害者安全つえ（白杖など）	○						
義眼	○						
眼鏡	○						
補聴器 / 人工内耳（一部の修理のみ）		○					*
車いす			○	○	*		*
電動車いす			○	○	*		*
歩行器			○	○	*		
歩行補助つえ 松葉つえ 口フストランド・クラッチ 多点つえ プラットフォームつえ			○	○	*		
義肢（義足・義手）			○				*
装具（下肢、靴型、体幹、上肢）			○				*
座位保持装置			○				*
座位保持いす			○			*	
起立保持具			○			*	
排便補助具			○			*	
頭部保持具			○			*	
重度障害者意思伝達装置			○※1				*

※1 重度の両上下肢及び音声・言語機能障がい者が対象

〈対象者について〉

\*「介護保険」について

65歳以上（特定疾病の方は40歳以上）の方は介護保険〈レンタル〉の対象となります。

ただし、オーダーメイドが必要な方はご相談ください。

\*「児童のみ」について

18歳未満の児童のみ給付対象となります。

\*「県判定」について

18歳以上の場合は、身体障害者更生相談所（県）での交付判定となります。

・書類判定の場合は、指定の専門医師の意見書（所定の様式）が必要です。

・来所判定の場合は、身体障害者更生相談所での判定となります。

平成25年4月1日より身体障害者手帳の交付を受けていない難病患者の方々についても一部補装具が給付対象となりました。詳しくは障害福祉課までお問合せください。

#### (5) 住宅設備改造費の補助

在宅の心身障がい者（児）のために住宅設備を改造する場合、その費用一部を補助します。

障がい要件など詳しくは障害福祉課へお問い合わせください。

**●タクシー券の給付**

大分市に住所を有する重度心身障がい者（児）に、タクシー利用券を交付します。

**●自動車（改造費・免許取得費）の補助****・自動車改造費の補助**

身体障害者手帳を所持している人が自ら所有し運転する自動車の操行措置等を改造する必要がある場合、その費用の一部を補助します。

**・自動車運転免許取得補助 / 自動車運転免許取得補講料補助**

身体障害者手帳を所持している人が運転免許を取得するとき、その費用の一部を補助します。

**●食の自立支援事業**

調理をすることが困難な障がい者世帯で食の確保が困難な方や、腎臓食などの栄養管理を必要とする方を対象に、栄養バランスが取れた食事を定期的に自宅に配食するとともに、配食の際に安否確認を行うことにより、障がい者の充実した在宅生活を支援します。

対象者：次の①～③のすべてに該当する人

- ①身体障害者手帳 1・2 級
- ②65 歳未満の人
- ③ひとり暮らしの人、またはそれに準ずる人

**●在宅重度身体障害者緊急通報サービス**

ひとり暮らし等の重度身体障がい者は、緊急通報システムサービスを受けることができます。

対象者：次の①～③のすべてに該当する人

- ①身体障害者手帳 1・2 級
- ②65 歳未満の人
- ③ひとり暮らしの人、またはそれに準ずる人

**●手話関係****・手話通訳者・要約筆記者奉仕員の派遣**

聴覚障がい者または大会・講演会等で、手話通訳者・要約筆記者奉仕員を必要とする場合に派遣します。

**・盲ろう者通訳介助員の派遣**

視覚および聴覚に障がいがある方に通訳補助員を派遣します。

**●点字関係****・点字文庫**

盲人の方のお求めに応じて、点字図書の出借やプライベートサービス（代読・代筆・辞書引き等）をします。

## ●減免制度・割引等

### ・所得税・個人住民税の控除

身体障害者手帳の交付を受けると、税の控除が受けられます。

### ・NHK 放送受信料の減免（全額控除・半額控除）

### ・自動車税（種別割）・（環境性能割）、軽自動車税（種別割）・（環境性能割）の減免

身体障害者手帳の交付を受けている方で、一定の要件を満たす場合に申請により、自動車税・軽自動車税および自動車取得税の減免を受けることができます。

### ・有料道路通行料金の割引

身体障害者手帳を所持している方が有料道路を利用するとき、通行料金が半額になります。

### ・市営の公共施設の使用料の減免

障がいのある人が文化活動やスポーツ活動をおこなうため、市営の公共施設を使用する場合、使用料等が減免されます。

### ・その他（交通機関等）の割引

JR 旅客運賃・バス運賃・航空運賃・船舶運賃・タクシー運賃の割引  
携帯電話基本使用料等料金割引

\* 具体的な割引内容や手続方法については各交通機関等にお問い合わせください。

### 3 指定ごみ袋の交付について (問い合わせ先: 大分市ごみ減量推進課 TEL537-5703)

家庭ごみ有料化制度の負担軽減措置として、常時紙おむつやストーマ用装具を使用している方、腹膜透析を実施している方など、ごみの減量が困難な方を対象に減免制度を設け、指定ごみ袋を交付しています。

対象となるのは、大分市に居住している方で、「在宅の方」に限ります。

(基準日 毎年 11月 1日)

	対 象 者	申請の要否・必要書類等	交付する指定ごみ袋		
			種類	交付枚数	
紙おむつ・ストーマ・腹膜透析	大分市おむつ等介護用品購入費助成事業による紙おむつ等の購入費の助成を受けている方 大分市家族介護用品支給事業による紙おむつ等の支給を受けている方 【担当課: 長寿福祉課】	申請不要 毎年 11月に翌年 10月までの 1年分を交付	小袋 20ℓ	年 1回 年間最大 100枚/人	
	大分市日常生活用具給付事業のうち排泄管理支援用具(ストーマ用装具、紙おむつ等)の給付を受けている身体障がい者(児)及び知的障がい者(児)の方 【担当課: 障害福祉課】				
	医師から常時紙おむつを使用する必要があると診断された方 (上記の長寿福祉課事業に該当しない)	要申請 ○本人(対象者)であることを確認できる書類 ○紙おむつ意見書(※医師の証明: 初回申請時のみ必要) 次年度以降は、身体障害者手帳その他継続して紙おむつの使用が確認できる書類(購入の領収書等)			
	常時ストーマ用装具を使用する方 (上記の障害福祉課事業に該当しない)				○本人(対象者)であることを確認できる書類 ○診療明細その他ストーマ用装具の使用が確認できる書類(納品書等)
	常時腹膜透析を実施する方				○本人(対象者)であることを確認できる書類 ○診療明細その他腹膜透析治療に必要な在宅医療用具の使用が確認できる書類(納品書等)
	が未常 い満時 児の紙 を養お 育む するつ 方、を 使 用 し て い る 3 歳 以 上 の 児 又 は 知 的 障 害 者 の 親 等 の 方				○身体障害者手帳の写し
身体障害者手帳(1級又は2級に限る)の交付を受けた方で、常時紙おむつ及びストーマ用装具を使用する在宅の方	○療育手帳の写し				
療育手帳(A1又はA2に限る)の交付を受けた方、その他当該者に準ずる者として市長が認める方で、常時紙おむつ及びストーマ用装具を使用する在宅の方					

1回限り最大50枚/人(出生又は転入の届を提出した翌月に交付するごみ袋とは別に交付)

#### (1) 交付方法・枚数について

ご自宅に世帯主あてに市から委託を受けた業者が指定ごみ袋を配達します。複数の要件に該当する世帯の方は、枚数を合算する場合があります。11月以降翌年10月までの間に新たに対象と決定した方には、決定からの枚数を決定の翌月にご自宅に配達します。

交付する袋の大きさを小さなサイズに変更することが可能です。詳しくは、大分市ごみ減量推進課までお問い合わせください。

#### (2) 申請が必要な対象者について

必要書類を持参の上、大分市役所本庁舎4階ごみ減量推進課に申請してください。翌月に申請の月からの枚数を配達します。代理の方による申請の場合は、申請書裏面の委任状の記入と代理の方の身分証明書が必要です。申請書はホームページからダウンロードできます。

要申請の方で基準日以降も引き続き対象に該当する方は、年1回の申請が必要です。



### Ⅲ 介護保険サービス

(問い合わせ先：大分市 長寿福祉課 TEL537-5679)

介護保険は「介護や支援が必要となったとき」に介護サービスを提供し、被保険者自身とその家族を支援するしくみです。

また、「できるかぎり介護を要する状態にならないように」という介護予防にも重点を置いています。

#### ● 対象者

- ・ 65 歳以上の人で、介護や支援が必要と認定された人
- ・ 40 歳から 64 歳までの人で、下記の病気により介護や支援が必要と認定された人

#### 特定疾病

40 歳から 64 歳の方は、加齢との関係がある次の 16 疾病が原因で介護や支援が必要と認定された場合、サービスを利用できます。

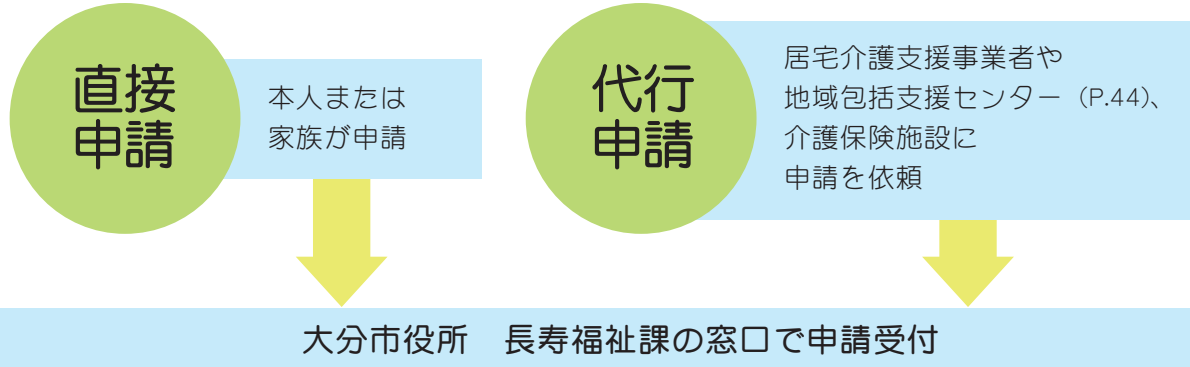
- |   |  |                                       |
|---|--|---------------------------------------|
| ・ <b>がん</b> (末期)                              | ・ <b>パーキンソン病</b> 関連疾患                  | ・ 糖尿病性神経障害、<br>糖尿病性腎症及び<br>糖尿病性網膜症    |
| ・ 関節リウマチ<br>(悪性関節リウマチ)                        | ・ <b>脊髄小脳変性症</b>                       | ・ 慢性閉塞性肺疾患                            |
| ・ <b>筋萎縮性側索硬化症</b>                            | ・ 脊柱管狭窄症<br>(広範脊柱管狭窄症)                 | ・ 閉塞性動脈硬化症                            |
| ・ <b>後縦靭帯骨化症</b>                              | ・ <b>早老症</b><br>(ウェルナー症候群、<br>コケイン症候群) | ・ 両側の膝関節または<br>股関節に著しい変形を<br>伴う変形性関節症 |
| ・ 骨折を伴う骨粗しょう症                                 | ・ <b>多系統萎縮症</b>                        |                                       |
| ・ 初老期における認知症<br>(プリオン病等、<br>認知症状を呈する<br>指定難病) | ・ <b>脳血管疾患</b>                         |                                       |

※指定難病で対象疾患に該当するものは太字で表示しています。

## ● 申請の方法

介護サービスを利用するには「要介護認定の申請」をし、認定を受けることが必要です。

### 認定申請（新規・更新・変更）の手続き



要介護等状態区分	心身の状態の例
事業対象者 要支援 1・2	日常生活上の基本的動作については、ほぼ自分で行うことが可能であるが、要介護状態になることの予防となるよう何らかの支援を要する状態
要介護 1～5	日常生活上の基本的動作についても、自分で行うことが困難であり、何らかの介護を要する状態
要介護 1	要支援状態から、手段的日常生活動作を行う能力がさらに低下し、部分的な介護が必要となる状態
要介護 2	要介護 1 の状態に加え、日常生活動作についても部分的な介護が必要となる状態
要介護 3	要介護 2 の状態と比較して、日常生活動作及び手段的日常生活動作の両方の観点からも著しく低下し、ほぼ全面的な介護が必要となる状態
要介護 4	要介護 3 の状態に加え、さらに動作能力が低下し、介護なしには日常生活を営むことが困難となる状態
要介護 5	要介護 4 の状態よりさらに動作能力が低下しており、介護なしには日常生活を営むことがほぼ不可能な状態
自立 (非該当)	歩行や起き上がりなどの日常生活上の基本的動作を自分で行うことが可能であり、かつ、薬の内服、電話の利用などの手段的日常生活動作を行う能力もある状態

## ● サービスの種類と内容

### ◆ 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

#### 〈介護予防・生活支援サービス事業〉

利用者の心身や生活状況により、サービス内容や利用できる回数が異なります。

【対象者】要支援 1・2 の人と事業対象者\*

\*事業対象者とは、基本チェックリストで生活機能の低下が認められた人

#### 訪問型サービス

ホームヘルパー等が訪問し、調理や掃除など自分ではできない日常生活上の支援や、利用者のできるようになるように支援します。

介護予防ホームヘルプサービス (介護予防訪問介護相当サービス)	ホームヘルパーによる身体介護、生活援助サービス
生活サポートホームヘルプサービス (基準等を緩和したサービス)	ホームヘルパーや一定の研修を受講した従事者による生活援助サービス（身体介護は行わない）

#### 通所型サービス

通所介護施設等で、食事や入浴などの日常生活上の支援や生活機能の維持向上のための機能訓練、体操、レクリエーション等を行います。

介護予防デイサービス (介護予防通所介護相当サービス)	身体機能や生活機能向上のための機能訓練
元気サポートデイサービス (基準等を緩和したサービス)	閉じこもり予防及び参加者同士の交流を図るための運動やレクリエーションサービス

#### パワーアップ教室

日常生活の自立を目的に、リハビリ専門職、栄養士、歯科衛生士等が、運動・口腔機能の向上や栄養改善のプログラムを3ヶ月間（週1回）実施し、自宅でも続けられるように支援します。

通所型パワーアップ教室	日常生活に支障のある生活行為を改善するために、運動・口腔機能の向上、栄養改善等のプログラムを複合的に実施
訪問型パワーアップ教室	リハビリ職による訪問指導（通所型パワーアップ教室利用者のうち、訪問指導が必要な人が対象）

#### 〈一般介護予防事業〉

65歳以上の人を中心に、生きがいづくり・役割づくりを大切にしながら、介護予防の知識を学び、地域の身近な場所で介護予防の活動を継続できるよう支援します。

【対象者】65歳以上すべての人、およびその支援のための活動に関わる人

#### 地域ふれあいサロン

地域の公民館や集会所において、高齢者が集い交流し、仲間づくり、介護予防を目的とした活動の場です。地域のボランティアなどの協力を得ながら運営しています。

主な活動：レクリエーション、体操、茶話会、季節の行事など

●問い合わせは、大分市社会福祉協議会（TEL547-7418）へ

#### 健康づくり運動教室

大分市民健康づくり運動指導者協議会において養成された指導者が、健康づくりのための運動教室を各地区の公民館などで開催しています。はじめての人でも楽しく参加できます。

●問い合わせは、大分市民健康づくり運動指導者協議会（TEL514-3622）へ

#### 介護予防のための健康教室

おおおね65歳以上の市民で構成する5人以上の団体に対して、下記のような出張講話を実施しています。

お口の健康教室 【内容】歯科衛生士によるお口の健康を保つための講話・体操など

食べていきいき教室 【内容】管理栄養士による栄養バランスのとれた食事の講話など

●問い合わせ・申請は、長寿福祉課地域支援担当班（TEL537-5746）へ

◆ 介護予防サービス・居宅サービス・施設サービス

〈要支援1・2の人が利用できるサービス〉

★については P.36 参照

介護予防サービス

在宅サービス（訪問を受けて利用する）

介護予防訪問入浴介護	訪問入浴車などで居宅を訪問して、入浴の介助を行います。
★介護予防 訪問リハビリテーション	身体能力の低下を予防し、また回復をはかるため理学療法士・作業療法士などが主治医の指示にもとづいて、リハビリテーションを行います。
★介護予防訪問看護	主治医の指示にもとづいて、看護師などが疾患などを抱えている利用者の居宅を訪問して、介護予防を目的とした療養上の支援や診療の援助を行います。
★介護予防居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師などが利用者の居宅を訪問し、介護予防を目的とした療養上の管理や指導を行います。

在宅サービス（通所して利用する）

介護予防 通所リハビリテーション	老人保健施設や医療機関などで、食事などの日常生活上の支援や生活行為向上のための支援、リハビリテーションを行うほか、その人の目標に合わせた選択的なサービス（運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上）を提供します。
---------------------	--

入居して介護を受ける

介護予防 特定施設入居者生活介護	有料老人ホームなどに入居している人に、介護予防を目的とした日常生活上の支援や介護を提供します。
介護予防短期入所生活介護 / 介護予防短期入所療養介護 (ショートステイ)	自宅で介護をしている人が、病気やけが・冠婚葬祭などによって介護が一時的にできなくなったときなどに、高齢者などが短期間施設へ入所し、身の回りの介護やリハビリなどのサービスを受けられます。

在宅サービス（居宅での暮らしを支える）

※利用・購入・工事の前に、担当の地域包括支援センターまたはケアマネジャーに相談してください。

介護予防福祉用具貸与	福祉用具のうち介護予防に資するものについて貸与を行います。 ・手すりやスロープ（設置工事を伴わないもの）・歩行者・歩行補助つえ ※・特殊寝台・特殊寝台付属品（マットレスなど）・床ずれ防止用具および体位変換器・車いす・車いす付属品 ・移動用リフト・認知症老人徘徊感知機器・自動排泄処理装置 ※一定の条件に該当する場合は利用できますので事前に担当ケアマネジャーに相談してください。
特定介護予防福祉用具購入	介護予防に資する入浴や排せつなどに使用する福祉用具購入費を支給します。同一年度に10万円を上限に費用の7割額から9割額を支給します。
介護予防住宅改修費支給	手すりの取り付けや段差解消などの小規模な住宅改修をした際、20万円を上限に費用の7割額から9割額を支給します。

地域密着型介護予防サービス

介護予防 小規模多機能型居宅介護	通いを中心に利用者の様態や選択に応じて、訪問や泊まりのサービスを組み合わせ提供します。
介護予防 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	認知症高齢者などが5~9人で共同生活を送りながら、スタッフによる介護予防を目的とした日常生活上の支援や介護を受けられます。
介護予防 認知症対応型通所介護	認知症高齢者を対象にした介護予防通所介護（デイサービス）です。

居宅サービス

在宅サービス（訪問を受けて利用する）

訪問介護 （ホームヘルプサービス）	訪問介護員（ホームヘルパー）が利用者の家庭を訪問して、食事・入浴・排せつの介助や、炊事・掃除・洗濯といった家事など、日常生活の手助けを行います。
訪問入浴介護	要介護者の家庭を、入浴設備や簡易浴槽を積んだ移動入浴車などで訪問し、入浴の介助を行います。
★訪問看護	主治医の指示にもとづいて、訪問看護ステーションや病院または診療所の看護師、保健師などが家庭を訪問して、病状を観察したり、床ずれの手当てなどを行います。
★訪問リハビリテーション	通院が困難な人に対して理学療法士や作業療法士などが家庭を訪問して、日常生活の自立を助けるためのリハビリテーション（機能訓練）を行います。
★居宅療養管理指導	通院が困難な人に対して、医師・歯科医師・薬剤師などが家庭を訪問して、医学的な管理や指導を行います。

在宅サービス（通所して利用する）

通所介護 （デイサービス）	通所介護事業所（デイサービスセンター）に通い、日帰りで食事・入浴の提供や、日常生活動作の訓練などが受けられます。
通所リハビリテーション （デイケア）	通所リハビリテーション事業所（老人保健施設など）に通い、日帰りで入浴や食事、日常生活を送るためのリハビリテーションが受けられます。

入居して介護を受ける

短期入所生活介護 / 短期入所療養介護 （ショートステイ）	家庭で療養する人などが、短期間施設に宿泊しながら、食事・入浴・排せつなどの日常生活上の介護や医学的管理のもとでの看護、機能訓練が受けられます。
特定施設入居者生活介護	有料老人ホームやケアハウスなどの入居者が日常生活上の介護や機能訓練、療養上の支援が受けられます。

在宅サービス（居宅での暮らしを支える）

※利用・購入・工事の前に、担当のケアマネジャーに相談してください。

<p><b>福祉用具貸与</b> 家庭で日常生活を営むのに支障のある人などに、車いすや特殊寝台（ベッド）などの必要な福祉用具を貸与します。</p> <p>★特殊寝台 ★特殊寝台付属品（マットレスなど） ★床ずれ防止用具（エアーマットなど） ★車いす ★車いす付属品 ○手すり（設置工事を伴わないもの） ○スロープ（設置工事を伴わないもの） ★移動用リフト ★体位変換器 ○歩行器 ○歩行補助つえ ★認知症老人徘徊感知器 □自動排泄処理装置</p> <p>〔※○は要支援 1 以上、★は原則要介護 2 以上、□は原則要介護 4 以上の人から利用できます。原則以外でも一定の条件に該当する場合は〕 利用できますので事前にケアマネジャーに相談してください。〕</p>
<p><b>特定福祉用具購入費の支給</b> 家庭で日常生活を営むのに支障のある人などが、入浴や排せつ用の福祉用具を県または市から指定された販売事業者で購入した場合、支給限度基準額の範囲内（1 年度につき 10 万円）でその購入費の 7 割から 9 割分を支給（償還払い）します。また、市では、利用者の中でも一時的な経済的負担の困難な人のため、購入時に利用者負担で購入できる「受領委任払い」方式も導入しています。</p> <p>自動排泄処理装置の交換可能部品 腰掛便座 簡易浴槽 入浴用のいす 入浴台 浴室内のすのこ 浴槽用の手すり 浴室内のいす 浴槽内のすのこ 入浴用介助ベルト 移動用リフトのつり具</p>
<p><b>住宅改修費の支給</b> 在宅の人などが、床段差を解消したり廊下や階段に手すりをつけるといった小規模の改修を行った場合、支給限度基準額の範囲内（20 万円）でその改修費の 7 割から 9 割分を支給（償還払い）します。また、市では利用者の中でも一時的な経済的負担の困難な人のため、住宅改修時に利用者負担で改修できる「受領委任払い」方式も導入しています。</p> <p>廊下や階段、浴室やトイレの手すりを設置 段差解消のためのスロープ設置 滑り防止のための床材などの変更 引き戸への扉の取替え 洋式便器などへの取替え など ※工事着工前に「事前の申請」が必要です。</p>

## 地域密着型サービス

小規模多機能型居宅介護	通いを中心に、利用者の様態や選択に応じて訪問や泊まりのサービスを組み合わせてサービスを提供します。
看護小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護のサービスに加え、必要に応じて訪問による看護サービスを提供します。
地域密着型通所介護	定員 18 人以下の小規模な通所介護（デイサービス）です。
認知症対応型通所介護	認知症高齢者を対象にした通所介護（デイサービス）です。
認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	認知症高齢者などが 5～9 人で共同生活を送りながら、介護スタッフによる食事・入浴・排せつなどの日常生活の介助や機能訓練などが受けられます。
地域密着型介護老人 福祉施設入所者生活介護	常時介護が必要で、自宅では介護が困難な人が入所し、食事・入浴・排せつなどの介護を受けたり機能訓練を行います。 ※入所定員が 29 人以下の小規模な介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）です。
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	定期的な巡回や通報により利用者の居宅を訪問し、必要に応じて介護と看護の連携したサービスを 24 時間対応で行います。
夜間対応型訪問介護	夜間において、定期的な巡回または通報により利用者の居宅を訪問し、排せつの介護等、日常生活上の緊急時の対応を行います。

## 施設サービス

介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	食事や排せつなどで常時介護が必要で、自宅では介護が困難な利用者などが入所し、食事・入浴・排せつなど日常生活の介護、機能訓練などを行います。 ※対象者は原則要介護 3～5 の人。ただし、要介護 1～2 の人でも特例的に入所できる場合もあります。
介護老人保健施設 （老人保健施設）	病状が安定し、治療よりはリハビリや介護が必要な利用者などが入所し、在宅復帰を目指して医学的な管理下での介護、機能訓練などを行います。
★介護医療院	長期の療養を必要とする利用者などが入所し、日常的な医学管理や看取り、ターミナルケアなどのサービスと日常生活上の介護を一体的に行います。

★は、特定医療費（指定難病）の支給対象となる介護保険サービスです。受給者証に記載されている疾患についてのみ使用できます。

## ● 介護保険制度以外で入所できる施設

養護老人ホーム	おおむね 65 歳以上で、環境上の理由及び経済的な理由により、居宅での生活が困難な人が入所する施設です。
生活支援ハウス	60 歳以上のひとり暮らしの人、または夫婦のみの世帯に属する人、および家族による援助を受けることが困難な人が利用する施設です。 （ただし、介護保険の認定が要支援 2 もしくは要介護 1～5 または、常時医療管理が必要な人は対象外）
軽費老人ホーム （ケアハウス）	60 歳以上で、身体機能の低下により日常生活を営むことについて不安があると認められ、家族による援助を受けることが困難な人が利用する施設です。

※施設によって入所要件や手続きが異なります。詳細は長寿福祉課へお問い合わせください。

## IV 難病の方のサービス

### ● 療養のための相談

#### ◆ 大分市保健所が行っている支援 (問い合わせ先：大分市保健所 保健予防課 管理担当班 TEL535-7710)

来所・電話相談	来所時や電話にて、保健師が相談に応じます。
家庭訪問	患者宅に保健師が訪問し、患者や家族の療養生活についてアドバイスをしています。
難病患者・家族等相談会	疾患ごとに医師等の講演会や相談会・患者同士の交流会を行います。内容等についての情報提供は、対象の方への個別通知や市報、市のホームページなどで行っています。
ピアケア相談 (委託事業)	NPO 法人大分県難病・疾病団体協議会の訪問相談員が患者宅等に訪問し、相談に応じます。 ※患者会・家族会については P45 をご参照ください。

#### ◆ 大分県難病相談・支援センター

地域で生活する難病患者や家族等の日常生活や療養上の不安に対する相談や支援を行います。

場 所	〒870-0037 大分市東春日町 1-1 NS 大分ビル 2 階 TEL 578-7831 FAX 578-7832
電話相談	月～金（年末年始・祝日を除く）9 時～17 時
面接相談	事前にご連絡ください。
メール相談	e メール nanbyo-o@tempo.ocn.ne.jp

#### ◆ 大分県難病医療ネットワーク相談室

難病患者や家族に対しての療養相談や入院、転院先の確保や在宅医療の確保のための連絡調整等を行っています。

場 所	〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1 丁目 1 番地 大分大学医学部付属病院内 TEL 097-579-6707 FAX 097-579-6708
電話相談	月～金（年末年始・祝日を除く）9 時～16 時
面接相談	事前にご連絡ください。
メール相談	e メール nw-nanbyo@joy.ocn.ne.jp

## ● 就労についての相談

### ◆ 大分公共職業安定所（ハローワーク大分）

ハローワークの障がい者の専門援助窓口に配置されている【難病患者就職サポーター】が、難病をお持ちの方の仕事に関するお悩みを一緒に考え、解消できるように支援しています。（予約制）  
 難病をお持ちの方を雇用している、または雇用を検討している事業主の方の相談もお受けしています。

受付時間	月～金（祝日・年末年始を除く） 8：30～17：15
お問い合わせ	〒870-8555 大分市都町 4-1-20 TEL 538-8609（部門コード 42#） FAX 537-2839

### ◆ 大分県難病相談・支援センター

大分県難病相談・支援センターでは、月に一度、【難病患者就職サポーター】による出張相談日を設けています。

相談日時	予約制にて、基本は第3水曜日 13：30～16：00 * 事前の連絡をお願いします。
場所	大分県難病相談・支援センター（大分市東春日町 1-1NS 大分ビル 2階） TEL578-7831

## ● 在宅人工呼吸器使用患者支援事業（大分県事業）

対象 大分県内に住所を有する指定難病患者で、かつ、その疾病を主たる要因として在宅で人工呼吸器を使用している患者のうち、医師が訪問看護を必要と認める方

実施方法等 診療報酬を超える回数（1日4回目以降）の訪問看護に適用  
 原則、1週間につき5回まで（年間260回の範囲内）  
 県から委託を受けた訪問看護ステーションから実施  
 自己負担なし

※詳しくは、使用されている訪問看護ステーションまたは主治医にご相談ください。



● その他、指定難病受給者証をお持ちの方が利用できるサービスについて

◆ 大分あったか・はーと駐車場利用証制度

障がい・高齢・難病等により駐車場の利用に配慮が必要な方に大分県が利用証を交付する制度です。利用証の交付申請が必要です。

◎電子申請

大分県電子申請システムで申請できます。利用証は郵送にてお送りします。



※申請時には「受給者証」を撮影して写真データを添付してください。

◎窓口申請

1. 即日発行

大分県福祉保健部福祉保健企画課  
(県庁舎別館 3 階)

TEL 506-2591

2. 後日郵送

・大分県障害者社会参加推進センター  
(大分県総合社会福祉会館 1 階)

TEL 558-8797

・大分市社会福祉協議会  
(ホルトホール大分 4 階)

TEL 547-8154

・大分市社会福祉協議会 野津原事務所

TEL 588-1151

・大分市社会福祉協議会 佐賀関事務所

TEL 575-3456



◆ 大分県ヘルプマーク・ヘルプカード

内部障がいや難病など、外見からは障がいのあることが分からなくても援助や配慮を必要としている方々が携帯し、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるためのものです。

手伝って欲しいことや緊急時の対応等を記載することができます。なお、配布は無料です。

〈配布機関〉

- ・大分市障害福祉課  
(大分市役所本庁舎 1 階)
- ・大分市保健予防課 (大分市保健所 2 階)
- ・大分市内の各支所
- ・大分県福祉保健部障害者社会参加推進室  
(大分県庁別館 1 階)
- ・大分県障害者社会参加推進センター  
(大分市大津町 2 丁目 1 番 41 号)

※ヘルプマークのみ

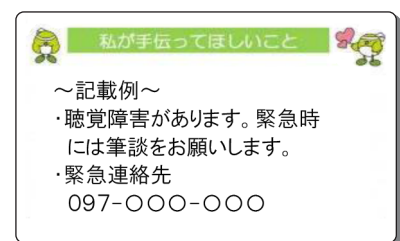
ヘルプマーク



ヘルプカード



カード (おもて面)



カード (うら面)

◆ 携帯電話の基本料金や通話料金等の割引サービス

詳細については各携帯ショップへお問い合わせください。

## V 災害時の備え

### ● わが家の防災マニュアル

(問い合わせ先：大分市防災危機管理課 TEL537-5664)

南海トラフを震源とする地震や津波、近年頻発・激甚化している風水害などをはじめ、本市域内では様々な災害の発生が懸念されております。

本市では、市民の皆様が災害について正しく理解し、事前に備えていただけるよう、「わが家の防災マニュアル」を令和5年1月に新たに改訂し、市内全戸に配布いたしております。

地域の災害リスクや、緊急避難場所、避難の際の留意事項などをわかりやすく1冊にまとめておりますので、ご家族で災害対策について話し合っていたり、地域の防災訓練などで、ご活用いただきますようお願いいたします。



### ● 避難行動要支援者事業

(問い合わせ先：大分市 福祉保健課 避難行動要支援者対策担当班 TEL585-6022)

災害時に一人で避難することが困難で、何らかの支援を必要とする、要介護者や重度の障がい者などが、災害時に地域の中で必要な支援を受けられるように、避難行動要支援者の名簿を作成しています。

本人の同意を得たうえで、住所や氏名、必要な支援内容などの情報を、平常時から自治委員や民生委員など（避難支援等関係者）に提供し、実効性のある避難支援につなげていくための取り組みを進めています。

〈同意書の送付〉

避難に支援が必要と判断される方に、自身の名簿情報を地域の関係者に提供してもよいか確認するために、市から同意書を随時送付しています。

同意書を受け取られた方は、名簿情報の地域への提供に「同意する」「同意しない」にかかわらず、同封の返信用封筒で福祉保健課へ必ず返送してください。

\* 同意により、災害時の避難支援が保証されるものではありません。

\* 同意しない場合でも、大規模災害発生時には名簿情報を避難所などに提供する場合があります。

#### 同意書を送付する方

1. 身体障害者手帳第1種を所持する方
2. 療育手帳 A1、A2 を所持する方
3. 精神障害者保健福祉手帳 1級を所持する方
4. 障害福祉サービスのうち「同行援護」「行動援護」の支給決定者の方
5. 障害支援区分 4～6 の認定を受けている障害福祉サービスの支給決定者の方
6. 要介護認定 3～5 を受けている方
7. 「特定医療費（指定難病）受給者証」および「特定疾患医療受給者証」所持者のうち、業務担当課が指定する疾患の方
8. 小児慢性特定疾病医療受給者証所持者のうち重症認定者の方

## ● 災害用伝言板 & 災害用伝言ダイヤル

地震等の災害発生時に、被災地へ向かう安否確認のための通話等が増加し、被災地へ向けての通話がつながりにくい状況になった場合に提供が開始されるサービスです。

### 災害用伝言板（web171）

家族等の安全がインターネット上で確認できます。

#### 【ご利用できる環境】

インターネット接続ができるパソコン、携帯電話、スマートフォン等にご利用できます。  
※一部の機種ではご利用になれません

#### 【ご利用料金】

安否確認の登録、閲覧等に伴うサービス利用料は無料です。なお、インターネット接続費用やプロバイダー利用料及び、ダイヤルアップ接続の場合は通信料等が別途必要となります。  
ご利用方法等を案内しています。

<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>

※国際電話番号等、入力できない番号があります。  
※災害用伝言板（web171）についても体験利用日（P42）に体験をすることが可能です。

#### 登録方法

- 1 <https://www.web171.jp> にアクセス
- 2 画面の指示に従って、文字による伝言を登録してください。

#### 閲覧方法

- 1 <https://www.web171.jp> にアクセス
- 2 画面の指示に従って、文字による伝言の追加登録をしてください。

### 災害用伝言板（各キャリア別）

携帯電話・スマートフォンのインターネット接続機能で、被災地の方が伝言を文字によって登録し、携帯電話・スマートフォンの電話番号をもとにして全国から伝言を確認できます。



NTT ドコモ



ソフトバンク



au KDDI

被災地域内と他の地域を結び、声の伝言板です。

**【ご利用できる電話】**

加入電話、ISDN※、公衆電話、ひかり電話※  
および災害時特設公衆電話からご利用できます。

携帯電話からもご利用いただけますが、  
詳しくは各通信事業者へお問い合わせください。

\* 市外局番からダイヤルしてください。

※ISDN および、ひかり電話でダイヤル式電話をお使いの場合には  
ご利用になれません。

**【登録できる電話番号】**

災害により電話がかかりにくくなっている地  
域の加入電話・ISDN・ひかり電話番号及び携帯  
電話等の電話番号。

\* 市外局番からダイヤルしてください。

**【ご利用料金】**

伝言蓄積等のセンター利用料は無料です。ま  
た、NTT 東日本または NTT 西日本の電話から伝  
言の録音・再生をする場合の通信料は無料です。

他通信事業者の電話から発信する場合の通話  
料については各通信事業者にお問い合わせ下さい。  
ご利用方法を案内しています。

<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

※伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。

聞かれたくないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。

**伝言の録音方法**

**①** **1 7 1** にダイヤルする  
▼ガイダンスが流れます

**②** 録音する場合は **1** 暗証番号を  
利用する録音は **3**  
▼ガイダンスが流れます

**③** (□□□□□) □□□□-□□□□

**伝言の再生方法**

**①** **1 7 1** にダイヤルする  
▼ガイダンスが流れます

**②** 再生する場合は **2** 暗証番号を  
利用する録音は **4**  
▼ガイダンスが流れます

**③** (□□□□□) □□□□-□□□□

**体験利用の案内**

〈体験利用日〉

- ・ 毎月 1 日及び 15 日の 00 : 00 ~ 24 : 00
- ・ 正月三が日 (1 月 1 日の 00 : 00 ~ 1 月 3 日の 24 : 00)
- ・ 防災週間 (8 月 30 日の 9 : 00 ~ 9 月 5 日の 17 : 00)
- ・ 防災とボランティア週間 (1 月 15 日の 9 : 00 ~ 1 月 21 日の 17 : 00)

〈伝言保存期間〉

- ・ 伝言保存期間は体験利用期間のみ

〈利用料金〉

- ・ 災害運用時と同様です。

## 準備しておくといふこと（もの）

### 【身のまわりの準備】

- 自宅の耐震診断を受け、家具の固定等必要な耐震対策を講じておきましょう。
- 寝たきりの患者や精密な機械を使用する患者の周辺は、地震でもものが落下したり、転倒してきたりするとけがや機器の故障につながるので、ベッドの周囲は整理整頓しておきましょう。
- 家の中から避難場所までの避難ルートを決めておきましょう。
- 生活用水を確保するため、浴槽等に水を満たしておきましょう。

### 【医療・医療機器関係】

- 災害時には、かかりつけの医療機関で治療を受けられるかわかりません。医療情報等を記載した手帳を準備しておく、日頃と異なる医療機関でも適切な治療を受けやすくなります。
- 医療機器の操作や簡単な修理はできるようにしておきましょう。
- 家庭で使用する「たん吸引器」、「アンビューバック（手動式人工呼吸器）」などの医療機器の取り扱いについて、家族、ヘルパー等、なるべく多くの人に習熟してもらっておきましょう。
- 中断することができない治療薬については、主治医と相談して、常に手元に1週間分程度が残るよう、計画的な受診を心がけましょう。
- 人工呼吸器、酸素供給器等を使用するために必要な医療材料を確認し、予備を準備しましょう。
- 医療材料は、必ず安全な場所にまとめて保管しておきましょう。
- 消毒薬（布）は、けが以外に、医療機器の清掃等にも使いますので準備しましょう。  
また、精製水も準備しておきましょう。

### 【その他】

- 自動車は、緊急時の輸送手段になります。常にガソリン残量については注意しておきましょう。ガソリン携行缶（金属製）は、ホームセンター等で販売しています。（備蓄するときは、ポリタンクは危険です。）一般的自動車はコンセント交換アダプターを通じ、また、EV・PHV・HVでは車種によっては100V電源コンセントが装備され、そのまま使用できるものがあります。
- 停電に備え、暖房・調理器具等については、電気を使用しないものも準備しておきましょう。カセット式コンロが便利です。
- その他の非常持ち出し品（必要最小限）は「非常持ち出し袋」に入れ、いざというときにすぐに持ち出せるようにしておきましょう。
- 災害時の避難に備え、搬送時の留意点をまとめておきましょう。

（大分県 難病患者のための災害時準備ガイドブックより抜粋）



大分県（健康づくり支援課）のホームページからダウンロード可能です。

## VI 連絡先一覧

### 地域包括支援センター

地域包括支援センターでは、主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師等がお互いの専門性を活かし、地域で暮らす高齢者の皆さんを、介護、福祉、保健、医療などの面から総合的に支援します。

	中学校区	名 称	所 在 地	電 話
1	上野ヶ丘	上野ヶ丘地域包括支援センター	金池町4丁目2番1号 フジタコーポ	097-513-5103
2	碩 田	碩田地域包括支援センター	中島東3丁目1-25 プライムコート中島 104	097-560-0437
3	王 子	王子地域包括支援センター	王子南町9番25号	097-544-1223
4	大分西	大分西地域包括支援センター	東八幡4丁目6組 リバーサイド91 101号	097-576-8282
5	南大分	南大分地域包括支援センター	畑中3丁目2番19号 コーポ矢野第2 102号	097-573-6688
6	城南・賀来	城南・賀来地域包括支援センター	荏隈1丁目12番3号	097-545-1030
7	城 東	城東地域包括支援センター	大津町2丁目1番41号 大分県総合社会福祉会館1階	097-558-6285
8	滝 尾	滝尾地域包括支援センター	下郡東1丁目3番15号	097-567-1720
9	明 野	明野地域包括支援センター	明野東1丁目1番1号 あけのアクロスタウン一番街1階	097-529-5705
10	原 川 (明治北小校区除く)	原川地域包括支援センター	高松1丁目2番2号 R73番館 103	097-547-8201
11	鶴 崎 (別保小校区除く)	鶴崎地域包括支援センター	北鶴崎2丁目7番7号	097-594-1501
12	大 東 (明治北小校区含む)	大東地域包括支援センター	大字松岡5461番地1 モンベル安達 103号	097-528-7660
13	東 陽 (別保小校区含む)	東陽地域包括支援センター	大字常行450番地	097-524-0892
14	大 在	大在地域包括支援センター	大在中央1丁目4番13号B	097-528-9295
15	坂ノ市	坂ノ市地域包括支援センター	坂ノ市南1丁目8番5号	097-592-6686
16	植 田	植田地域包括支援センター	大字上宗方590番地10 日生第3マンション 103号	097-542-7147
17	植田西	植田西地域包括支援センター	富士見が丘東2丁目13番3号	097-576-7573
18	植田南 (寒田小校区除く)	植田南地域包括支援センター	大字田尻659番地	097-547-7886
19	植田東 (寒田小校区含む)	植田東地域包括支援センター	大字宮崎1385番地1 コーポ長岡 203	097-568-3310
20	竹中・判田	竹中・判田地域包括支援センター	大字中判田1910番地の6	097-597-4111
21	戸次・吉野	戸次・吉野地域包括支援センター	大字中戸次4577番地3	097-586-7170
22	野津原	野津原地域包括支援センター	大字野津原字久保1505番地1	097-586-4020
23	佐賀関・神崎	佐賀関・神崎地域包括支援センター	大字佐賀関1407番地の27 佐賀関市民センター 1F	097-575-0337

団 体 名	対象疾病等	連 絡 先
一般社団法人 全国膠原病友の会 大分県支部	膠原病	097-527-5453
よりみちの会	全身性強皮症 皮膚筋炎 / 多発性筋炎	097-532-1621
大分県腎臓病協議会	腎臓病	097-553-0578 (火曜日・木曜日 10時から 17時まで)
一般社団法人 日本筋ジストロフィー協会 大分県支部	筋ジストロフィー	090-3609-3811
一般社団法人 日本 ALS 協会 大分県支部	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	097-544-4595
大分 IBD 友の会	潰瘍性大腸炎 クローン病	097-523-2352 (19時から 21時まで) メール aruwatt5010@bun.bbig.jp
大分脊髄小脳変性症 多系統萎縮症友の会	脊髄小脳変性症 多系統萎縮症	080-3968-3125 facebook あり
MG の会	重症筋無力症	080-1776-7452
MS つくしんぼ	多発性硬化症	090-4210-7635
大分県網膜色素変性症協会 (JRPS 大分)	網膜色素変性症	090-1366-5030 (9時から 19時まで)
一般社団法人 全国パーキンソン病友の会 大分県支部	パーキンソン病	090-5083-7071
アトム会の会大分県支部 (全国 HAM 患者友の会)	HTLV-1 関連脊髄症	097-578-7831 (大分県難病相談・支援センター)
NPO 法人 大分脊柱靭帯骨化症友の会 (大分 OPLL 友の会)	後縦靭帯骨化症 黄色靭帯骨化症 広範脊柱管狭窄症	090-7478-9288
大分ヘモフィリア友の会	血友病	090-8766-5609
NPO 法人 大分県難病・疾病団体協議会	難病全般	097-535-8755 メール oita-nanbyouren@marble.ocn.ne.jp

この他にも患者さん同士で仲間作りが出来るように交流会を行っています。

詳しくは、大分県難病相談・支援センターや大分市保健所保健予防課管理担当班までご連絡ください。

### 地域活動支援センター 「ふれあい」

大分県難病・疾病団体協議会が運営する就労継続支援 B 型の通所事業所です。作業内容は軽作業です。(男女不問) 指導員がサポートしますので興味のある方はお問い合わせください。

場所：〒870-0914 大分市日岡 3 丁目 5-16 (40m 道路沿い)  
TEL：535-8282 FAX：535-8750  
<https://oita-nanbyouren.com>



作業風景

## 関係機関

### 難病情報センター

難病情報センターでは、指定難病の患者やご家族の療養上の悩みや不安を解消するため、最新の医学情報、医療機関、相談機関の情報等を収集・整理するとともに、難病診療に携わる医療関係者に診療上必要な情報等の提供を、厚生労働省健康局難病対策課と財団法人難病医学研究財団が協力して行っています。

難病情報センターのホームページ  
<https://www.nanbyou.or.jp/>

### 大分県 福祉保健部 健康づくり支援課 がん・難病対策班

大分県の難病患者に対する保健・医療・福祉にわたる総合的な施策を行います。

連絡先 〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号  
TEL 506-2674

### 大分県難病医療連絡協議会

難病の医療提供体制の検討・協議・評価等を行います。

事務局 大分県 福祉保健部 健康づくり支援課  
連絡先 〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号  
TEL 506-2674 FAX 506-1735

### 大分県難病医療ネットワーク相談室

難病患者や家族に対しての療養相談や入院、転院先の確保や在宅医療の確保のための連絡調整等を行っています。

連絡先 〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 大分大学医学部附属病院内  
TEL 097-579-6707 FAX 097-579-6708  
ホームページ <http://nanbyo-o.server-shared.com/>

### 大分県難病相談・支援センター

地域で生活する難病患者や家族等の日常生活や療養上の不安に対する相談や支援を行います。

連絡先 〒870-0037 大分市東春日町1-1 NS大分ビル2階  
TEL 578-7831 FAX 578-7832  
ホームページ <http://nanbyo-o.server-shared.com/>

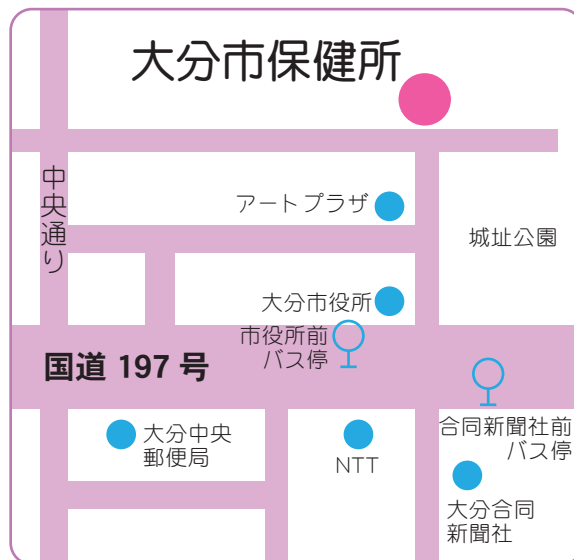


## 大分市役所内の関係各課

〒870-8504 大分市荷揚町 2 番 31 号  
TEL 534-6111 (代表)  
大分市ホームページアドレス  
<https://www.city.oita.oita.jp/>

## 大分市保健所 保健予防課 管理担当班 (難病担当)

〒870-8506  
大分市荷揚町 6 番 1 号  
TEL 535-7710  
FAX 532-3356  
e-mail:hokenyobo@city.oita.oita.jp



## 大分市 障害福祉課

身体障害者手帳や障害者総合支援法等について  
障害福祉サービスについて

TEL 537-5786 FAX 537-1411  
TEL 537-5658

## 大分市 長寿福祉課

介護保険や高齢者福祉について

TEL 537-5679 FAX 548-5387

## 大分市 ごみ減量推進課

指定ごみ袋の交付について

TEL 537-5703 FAX 534-6252

## 大分市 国保年金課

国民健康保険や後期高齢者医療について  
国民年金や障害年金について (大分市国民年金室)

TEL 537-5735 FAX 534-8042  
TEL 537-5617 FAX 532-0705

## 大分市 子育て支援課 (大分市子ども家庭支援センター)

子どもに関する相談全般、子ども虐待相談など  
大分市中央子ども家庭支援センター  
大分市東部子ども家庭支援センター  
大分市西部子ども家庭支援センター

TEL 537-5688 FAX 533-5015  
TEL 527-2140 FAX 523-1320  
TEL 541-1440 FAX 542-2110

## 大分市 生活福祉課

生活保護に関する相談等について

TEL 537-5706 FAX 533-7818

## 大分市 福祉保健課 避難行動要支援者対策担当班

避難行動要支援者の避難支援対策について

TEL 585-6022 FAX 534-6260

## 大分市保健所 健康課 保健（福祉）センター・健康支援室一覧

地域の健康づくり・疾病予防などの相談支援を行っています。

### 中央保健センター（大分市保健所内）

〒870-8506 大分市荷揚町 6 番 1 号  
TEL 536-2517

### 東部保健福祉センター（鶴崎市民行政センター内）

〒870-0103 大分市東鶴崎 1 丁目 2 番 3 号  
TEL 527-2143

### 大在健康支援室（大在市民センター内）

〒870-0268 大分市政所 1 丁目 4 番 3 号  
TEL 574-7681

### 坂ノ市健康支援室（坂ノ市市民センター内）

〒870-0308 大分市坂ノ市南 3 丁目 5 番 33 号  
TEL 574-7891

### 佐賀関健康支援室（佐賀関市民センター内）

〒879-2201 大分市大字佐賀関 1407 番地の 27  
TEL 575-2077

### 西部保健福祉センター（穂田市民行政センター内）

〒870-1155 大分市玉沢 743 番地の 2  
TEL 541-1496

### 大南健康支援室（大南市民センター内）

〒879-7761 大分市中戸次 5115 番地の 1  
TEL 574-7791

### 野津原健康支援室（野津原市民センター内）

〒870-1203 大分市大字野津原 800 番地  
TEL 588-1880

## 日本年金機構 大分年金事務所

国民年金への加入や年金の給付等に関する手続きについて  
所管区域 大分市・竹田市・豊後大野市・由布市  
〒870-0997 大分市東津留 2-18-15

TEL 552-1211

（ 国民年金の加入等 自動音声案内 2→2 ）  
国民年金の給付等 自動音声案内 1→2 ）

## 全国健康保険協会 大分支部（協会けんぽ）

健康保険の給付や任意継続等に関する手続きについて  
〒870-8570 大分市金池南 1-5-1  
J：COM ホルトホール大分（MNC タウン 2 階）

TEL 573-5630

## 大分県後期高齢者医療広域連合

〒870-0037 大分市東春日町 17 番 20 号  
大分第 2 ソフィアプラザビル 6 階

TEL 534-1771 FAX 534-1778

## 大分公共職業安定所（ハローワーク）

就労についての相談をお伺いしています。  
〒870-8555 大分市都町 4-1-20

TEL 538-8609（部門コード 42#） FAX 537-2839

## 大分障害者職業センター

〒870-0131 大分市皆春 1483-1  
ポリテクセンター大分内 第 1 教室棟 3 階・4 階

TEL 503-6600 FAX 503-6601

## 障害者就業・生活支援センター大分プラザ

〒870-0839 大分市金池南 1 丁目 9 番 5 号  
博愛会 地域総合支援センター内 2 階

TEL 578-6211 FAX 574-8667

## 大分市障がい者相談支援センター「さざんか」

障害に関する相談を行います。

〒870-0819 大分市王子新町 5 番 1 号（大分西部公民館併設）

TEL 576-8887 FAX 576-7554

## 大分市自立生活支援センター

生活の不安や困りごとの相談について

〒870-0839 大分市金池南 1 丁目 5 番 1 号

J：COM ホルトホール大分 4 階

TEL 547-8319 FAX 547-9583

発行 令和5年9月

編集 大分市保健所 保健予防課

〒870-8506

大分市荷揚町6番1号

電話 (097)535-7710

FAX (097)532-3356

大分市ホームページアドレス

<https://www.city.oita.oita.jp/>

